



National Institute of Informatics

NII Technical Report

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
—2005年度(平成17年度)版—

V. 特別研究員奨励費編

Evaluation of Japanese Universities' Research
Activity Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research

— 2005 Fiscal Year —

V. Grant-in-Aid for JSPS Fellows

光田好孝、野村浩康、前田正史、前橋 至、
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛

Yoshitaka MITSUDA, Hiroyasu NOMURA, Masafumi MAEDA,
and Itaru MAEBASHI,

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,
and Yuan SUN

NII-2007-005J

Apr. 2007

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
－2005年度(平成17年度)版－
V. 特別研究員奨励費編

光田好孝*, 野村浩康**, 前田正史*, 前橋至*
* 東京大学 ** 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity
Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research
－ 2005 Fiscal Year –
V. Grant-in-Aid for JSPS Fellows

Yoshitaka MITSUDA*, Hiroyasu NOMURA**,
Masafumi MAEDA*, Itaru MAEBASHI*
* The University of Tokyo, ** Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN
National Institute of Informatics

Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the fifth and last report for 2005 fiscal year's version, on the encouragement fund for JSPS (Japan Society for the Promotion of Science) fellows. The total number of adopted subjects corresponds to the number of young researcher candidates at each university and also to a degree of the role of each university educating young researchers. The total number of adoption subjects of research projects at 2005 has summed up for each university and institute on individual research field and compared them to those of 2004 which were reported previously.

目 次

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに	1
2. 調査研究に利用したデータベース	3
3. 2005 度（平成 17 度）の包括的な状況	3
4. 調査研究の具体的な分析方針	10

II. 個別研究費：特別研究員奨励費編

1. 概要	11
2. 研究領域別	18
2-1 文系	18
2-2 理工系	23
2-3 医系	30
2-4 融合系	34

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性化の調査研究について

1. はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金制度は、1939年（昭和14年）に始まった古くからのわが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機関等に所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度である。この科学研究費補助金の配分システムが、いろいろな批判はあるにせよ紆余曲折を経ながら、わが国の大学の基礎研究を支えてきたと言っても過言ではない。わが国の科学技術の振興を一層図るために、科学技術基本法が作られ、その一環として、いわゆる競争的研究資金である科学研究費補助金に予算が重点的に配分され、図1-1に示すように、毎年予算増が図られてきた。2006年度（平成18年度）には、1,895億円と1992年度（平成4年度）の約3倍に増加し、他の省庁の所轄を含めてわが国最大の競争的研究資金となっている。納税者に対する説明責任という観点からも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に分析・調査することは重要である。

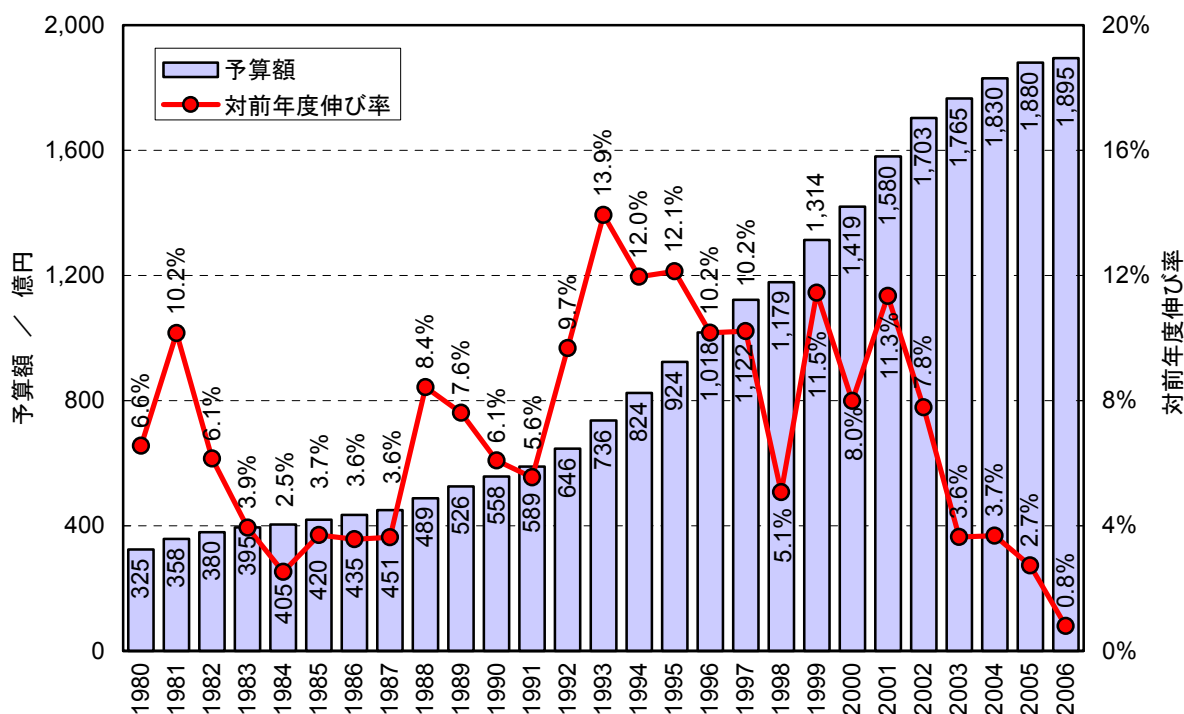


図1-1 科学研究費補助金の予算額の推移

さらに、評価における観点として、科学研究費補助金の採択研究課題数等を個人および機関評価の資料として用いるときのデータの公開性の問題がある。公開され誰にでも入手できるデータに基づき、明示された方法により、評価・順位づけがなされなければならない。この種の資料の整理・公開が非常に遅れていることも、わが国の正確な評価システムの構築を妨げている一因である。この意味から

も科学研究費補助金の採択研究課題および金額は、毎年「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）に公表されており、現在では国立情報学研究所の web サイトにも公開され、条件さえ整えば誰でも見ることができる。

科学研究費補助金のような公開データから採択研究課題数を大学別に整理することによりランキングを作成する場合、必ず大学の規模の問題が出てくる。科学研究費補助金採択研究課題数は、いわば英国における各大学の RAS（Research Active Staff）の数に対応するものと考えられる。国立大学の法人化により徐々に運営費交付金の削減が進行すれば、研究者への研究費について機関配分よりも競争的な個人配分の割合が増加するのは当然の流れである。科学研究費補助金制度は、国・公・私立大学の区別なく研究者個人が申請し研究費を獲得する制度である。採択研究課題数の多い大学は、活発に研究活動をしている教員、英国流に言えば RAS が多く所属していることになり、分野ごとの採択研究課題数の多寡は、各大学の研究活性分野の濃淡を表すことになる。とすれば、このような資料は、大学当局においても構成員の研究活性度を的確に把握するために欠くことのできないもの、大学ガバナンスの資料でもあるはずである。

この科学研究費補助金制度の根幹をなす仕組みのひとつが科学研究費補助金の「系・分野（部）・分科・細目表」（以下「細目表」という）である。この細目表は基盤研究等の研究種目に関し審査分野の区分を示す分類表である。ここで注意すべきことは、科学研究費補助金の「細目表」における細目構成が基本的にわが国の学部学科編成と似ていることから、科学研究費補助金の採択研究課題数と学部学科等の大学の組織の人数等を短絡的に比較しがちな点である。しかし、学部・学科・専攻が学問分野を中心に編成されているものの、研究者がその所属に関係なく実施しようとする研究計画の内容を考え適切な細目を自ら選んで研究費を申請できることが、科学研究費補助金の特徴である。

科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならない。科学研究費補助金の「細目表」については 1993 年度（平成 5 年度）に抜本的改正が行われ、以後 5 年ごとに見直されることが平成 5 年度募集要項に付記された。学術審議会科学研究費分科会（当時）に「分科細目改正検討委員会」が設置されたが、1998 年度（平成 10 年度）は小規模な改正に留められ、2003 年度（平成 15 年度）に大幅な改正が行われることとなった。

以上のことから、我々は、2003 年度の「細目表」の大改訂を考慮して、1998 年度（平成 10 年度）～2002 年度（平成 14 年度）の 5 年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析し、その結果からわが国の大学・研究機関の研究活性度を調べ、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」（NII-2003-007J(2003)、NII-2004-001J～005J(2004)）として、web 上に公表した。また、その骨子は慧文社から「科学研究費補助金からみる全国大学総合ランキング — 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究 —」として出版した。

一方、2003 年度（平成 15 年度）の改正は、学術審議会答申「科学技術創造立国を目指す我が国の学術研究の総合的推進について」（1999 年（平成 11 年）6 月 29 日）に基づき、2000 年度（平成 12 年度）に学術審議会科学研究費分科会審査第一部会に「分科細目改正検討委員会」が設置され、「細目表」についての検討が続けられた。日本学術会議および 17 の関連学会等の修正・追加意見等を参考に、最終的に新たな「細目表」が決定された。この新しい「細目表」を用いて初めて申請された 2003 年度および 2004 年度の科学研究費補助金採択研究課題も分析し、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」（NII-2005-002J、004J、006J～008J(2005) 、NII-2006-002J、003J、005J～007J(2006)）として、web 上に公表した。また、2003 年度、2004 年度の内容はトランスアートから「全国大学の研究活性度 — 2003 年度科学研究費補助金の採択研究課題数に関する調査 —」、「全国大学の研究活性度 2004 —

科学研究費補助金の採択研究課題数に関する調査 一」として出版した。

本調査報告は、同様の調査研究の2005年度（平成17年度）版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、2004年度までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2004年度と同様に、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費）と大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）とその他（特定奨励費、研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費）にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。

2. 調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名等については、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）として、毎年10月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要等については、国立情報学研究所により「KAKEN（科学研究費補助金採択課題・成果概要公開データベース）」（URL：<http://seika.nii.ac.jp/>）としても公開されている。このように、科学研究費補助金については、公開されたデータが存在するため、採択研究課題数等を機関評価の資料として用いることが可能である。このことは、2005年（平成17年）6月にユネスコ・ヨーロッパ高等教育センターが呼びかけ開催された高等教育専門家会合において、大学ランキングの望ましい在り方を示した文書「高等教育機関のランキングに関するベルリン原則」にも謳われているデータの透明性にあたる。

本調査研究、特に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いている。また、予算額等の「KAKEN」から得られないデータについては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値を用いた。なお、「KAKEN」には年度当初の採択研究課題に加え年度途中での追加採択研究課題も含まれているため、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値と一致しない場合があることに注意されたい。

3. 2005年度（平成17年度）の包括的な状況

2005年度の総予算額は、図1-1に示したように、50億円増、2.7%増えて1,880億円である。緊縮財政状況の中では突出した伸びであるといえるが、伸び率が縮小してきていることがわかる。2003年度から2005年度までの総予算額の項目別内訳について示したものが、表1-1である。これらの項目を、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）、個別課題研究費の一種である特別研究員奨励費、研究成果公開促進費、特定奨励費、大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）、および残りの項目を審査・評価・分析経費として、予算額の割合を図1-2の円グラフに示す。

2003、2004年度に比べて、個別課題研究費が59.3%に微増し、大型研究費が34.7%に微減し、年々大型研究費から個別課題研究費に若干予算が移動していることがわかる。しかし、項目別予算の割合はほとんど変化していない。言い換えれば、全体的な枠組みは近年ほとんど変化しておらず、総予算額のみが増えてきているといえる。

表 1 - 1 科学研究費補助金の項目別予算額

金額単位/百万円

項 目		2003年度	2004年度	2005年度
1 科学研究費	(1) 特別推進研究	12,980	13,400	13,600
	(2) 特定領域研究	40,291	40,291	40,291
	(3) 基盤研究(S)	7,880	9,310	10,600
	(4) 基盤研究(A)	20,640	20,640	20,640
	(5) 基盤研究(B)	34,110	34,110	34,110
	(6) 基盤研究(C)	19,870	19,870	19,870
	(7) 萌芽研究	4,600	5,250	5,250
	(8) 若手研究(A)	4,030	5,440	5,900
	(9) 若手研究(B)	11,410	13,110	14,600
	(10) 奨励研究	200	600	600
	(11) 特別研究促進費	1,150	250	250
	小 計	157,161	162,271	165,711
2 研究成果公開促進費	(1) 学術定期刊行物	884	884	884
	(2) 学術図書	685	685	685
	(3) データベース	1,416	1,416	1,416
	(4) 研究成果公開発表	397	397	397
	小 計	3,382	3,382	3,382
3 特定奨励費		770	770	770
4 特別研究員奨励費		5,490	5,710	6,170
5 学術創成研究費		8,780	9,950	11,050
6 審査・評価・分析経費		917	917	917
合 計		176,500	183,000	188,000

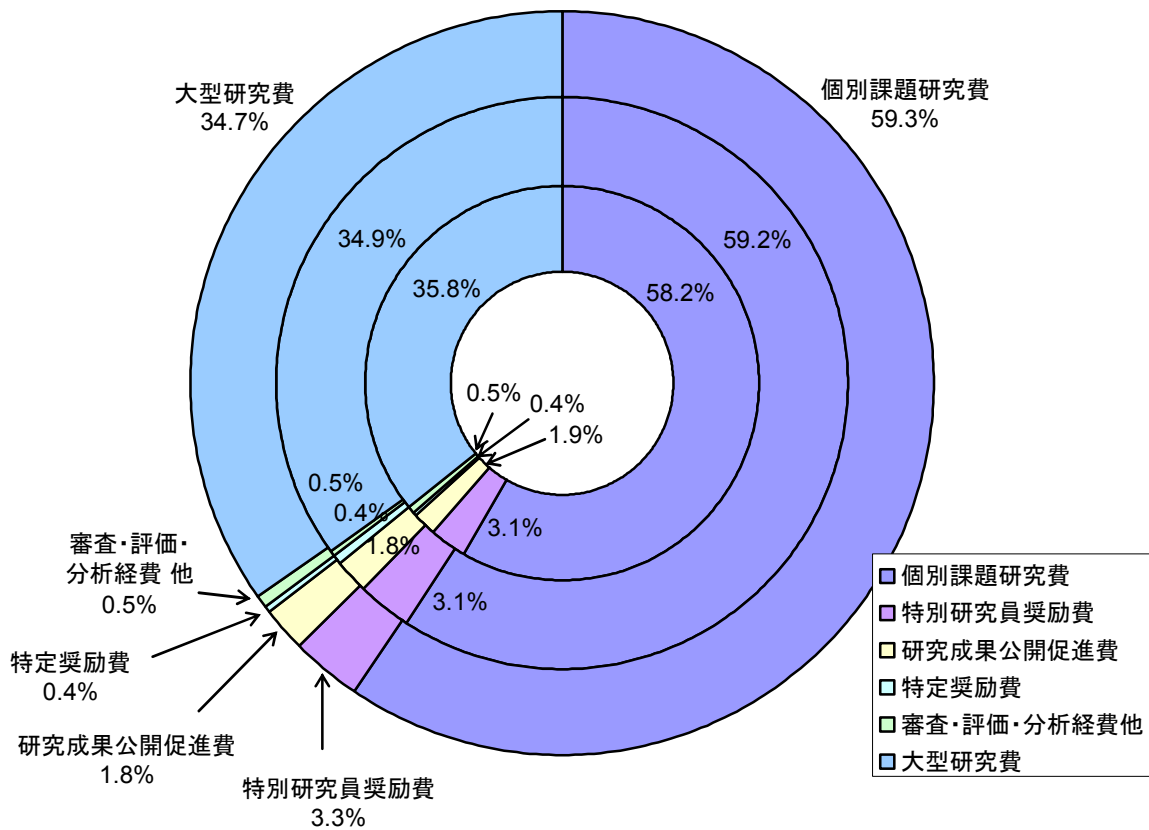


図 1 - 2 2003 年度(内周)、2004 年度(中間周)、2005 年度(外周)の科学研究費補助金の項目別予算の割合

まず、個別課題研究費について、2005年度の採択研究課題数を「分野」別に眺めてみる。採択研究課題数に着目し、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、および特別研究員奨励費）の分析に用いた「分野」別および研究種目別の採択研究課題数と配分額を表1-2に示す。

特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）の2005年度の「分野」別の採択研究課題数の割合を図1-3に示す。2004年度と比較すると、総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題数が約4.5%増え、「系」別の伸びが総合・新領域系で11.3%、人文社会系で6.4%増えているのに対して、理工系で1.8%、生物系で2.8%しか伸びておらず、その伸び方には差があることがわかる。

次に、2005年度の採択研究課題数を機関別に眺めてみる。2005年度の特別研究員奨励費を除く研究種目全体の機関別採択研究課題数を表1-3に、その棒グラフを図1-4に示す。1位の東京大学をはじめとして、上位を旧帝国大学が占め、広島大学等の旧文理大学が続くことがわかる。また、医学部を持つ大学が上位に現れやすい傾向が見てとれる。このように、採択研究課題全体では各機関の研究分野の特徴が表れにくく、大規模の国立大学が上位にあるように見える。

表 1-2 個別課題研究費の分野別研究種目別の採択研究課題数と配分額（2005 年度）

金額単位/百万円

研究種目	分野	総合領域	複合新領域	人文学	社会科学	数物系科学	化学	工学	生物学	農学	医歯薬学	時限付き	研究種目別合計
		件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額
基盤研究 (S)	件数	29	28	11	7	37	24	76	25	22	57	—	316
	配分額	497	590	171	82	577	436	1,379	452	351	1,083	—	5,619
基盤研究 (A)	件数	182	191	148	161	198	83	334	93	137	244	—	1,771
	配分額	1,853	1,900	1,082	1,265	1,792	989	3,620	909	1,332	2,608	—	17,349
基盤研究 (B)	件数	878	520	534	734	613	335	1,340	322	709	1,785	—	7,770
	配分額	3,749	2,285	1,799	2,518	2,538	1,714	6,321	1,584	3,103	8,708	—	34,319
基盤研究 (C)	件数	1,711	569	1,508	1,770	1,250	441	1,798	468	736	5,266	283	15,800
	配分額	2,230	767	1,459	1,821	1,458	656	2,530	702	1,027	7,537	408	20,596
萌芽研究	件数	534	284	174	260	248	203	627	165	318	1,359	—	4,172
	配分額	757	421	177	286	312	331	966	262	482	2,078	—	6,070
若手研究 (A)	件数	92	61	7	15	58	57	153	42	32	109	—	626
	配分額	600	423	14	54	449	440	1,160	362	231	807	—	4,538
若手研究 (B)	件数	1,422	469	589	1,217	871	439	1,572	439	575	3,343	—	10,936
	配分額	1,846	651	546	1,202	1,085	693	2,213	692	826	4,828	—	14,582
分野別合計	件数	4,848	2,122	2,971	4,164	3,275	1,582	5,900	1,554	2,529	12,163	283	41,391
	配分額	11,532	7,035	5,248	7,227	8,211	5,259	18,188	4,963	7,352	27,649	408	103,072
特別研究員奨励費	件数	5,575											5,575
	配分額	5,394											5,394

* 特別研究員奨励費に関してのみ、平成 17 年度文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧よりデータを採用した。

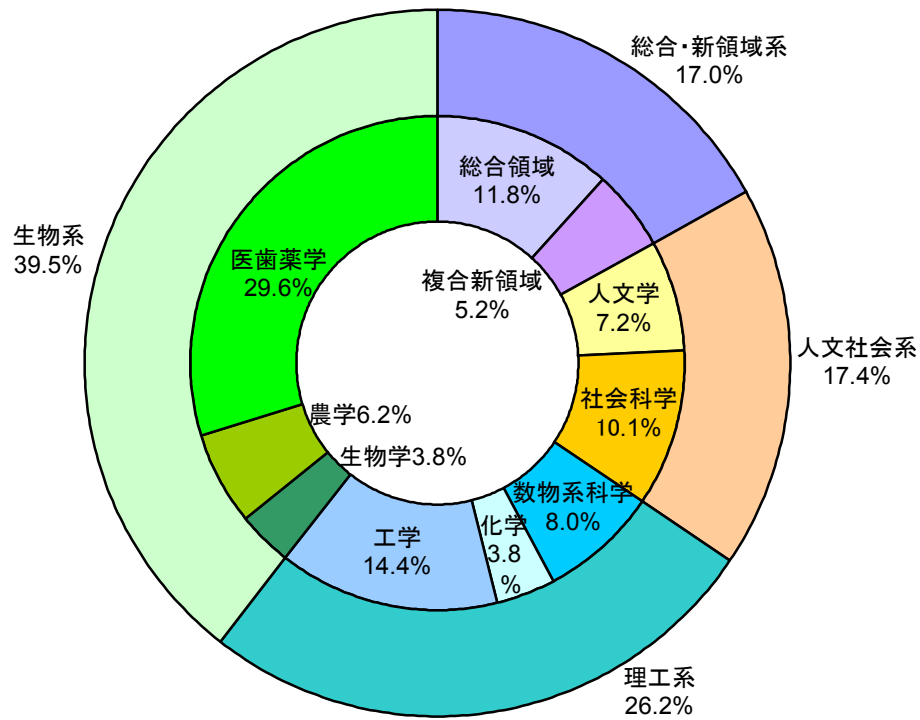


図 1 - 3 2005 年度科学研究費補助金の「系」別(外周)および「分野」別(内周)採択研究課題数の割合

表 1-3 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度	
			件数	金額
1	国	東京大学	2,840	17,995,755
2	国	京都大学	2,228	11,740,300
3	国	東北大学	1,723	8,449,900
4	国	大阪大学	1,676	8,108,600
5	国	九州大学	1,382	5,260,200
6	国	北海道大学	1,341	5,136,821
7	国	名古屋大学	1,242	5,818,900
8	国	筑波大学	877	2,841,400
9	国	広島大学	853	2,213,431
10	国	東京工業大学	782	4,074,100
11	国	神戸大学	750	2,319,232
12	国	岡山大学	617	1,746,429
13	私	慶應義塾大学	597	2,251,300
14	国	千葉大学	583	1,728,200
15	私	早稲田大学	518	1,604,500
16	国	新潟大学	494	1,181,900
17	他	理化学研究所	490	2,379,800
18	国	金沢大学	456	1,299,500
19	国	徳島大学	402	1,112,100
20	国	熊本大学	401	1,396,000
20	国	長崎大学	401	974,000
22	国	東京医科歯科大学	384	1,635,000
23	私	日本大学	348	577,400
24	公	大阪市立大学	340	1,177,800
25	国	信州大学	338	684,400
26	国	山口大学	334	676,817
27	公	首都大学東京	321	948,000
28	国	鹿児島大学	319	618,700
29	国	群馬大学	313	878,100
30	国	岐阜大学	279	773,600
31	公	大阪府立大学	278	679,000
32	国	愛媛大学	275	783,800
33	国	山形大学	249	492,500
34	国	静岡大学	248	622,600
35	私	東海大学	228	476,200
36	国	鳥取大学	223	454,900
37	国	三重大学	220	504,900
38	国	横浜国立大学	218	709,100
39	国	福井大学	214	461,900
40	他	産業技術総合研究所	211	862,500
40	私	立命館大学	211	467,200
42	公	名古屋市立大学	209	524,200
43	国	琉球大学	204	383,200
44	国	東京農工大学	193	822,500
45	国	佐賀大学	191	354,572
46	私	北里大学	189	437,400
47	国	宮崎大学	188	388,600
48	国	弘前大学	183	351,600
49	国	島根大学	176	321,900
50	国	埼玉大学	175	351,700
合計			45,531	150,895,540

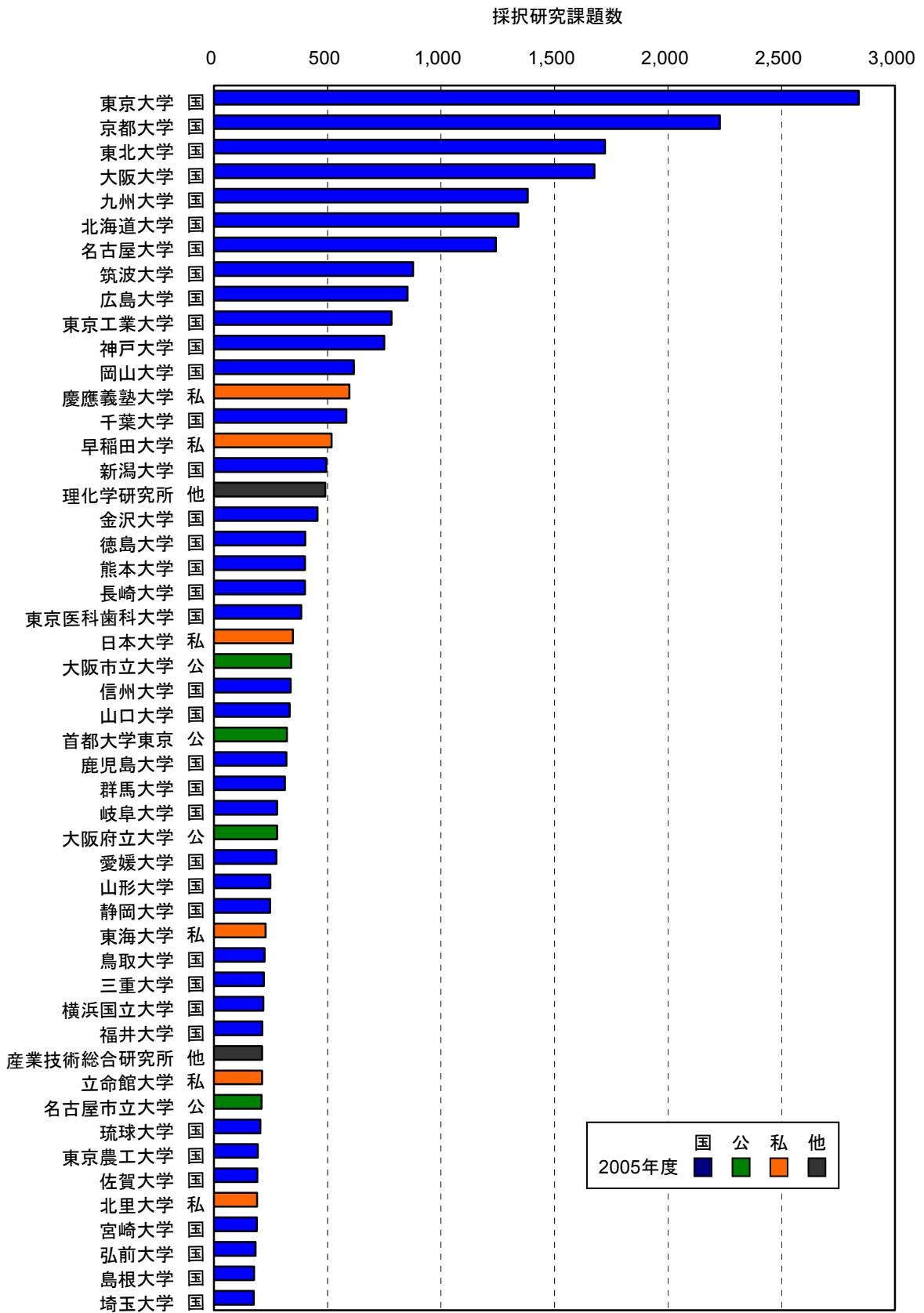


図 1 - 4 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

4. 調査研究の具体的な分析方針

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた新「細目表」にしたがって整理した。基本的には前回の2004年度の分析方針と同じである。経時変化がわかるように、2004年度の機関別採択研究課題数を併記することとした。ただし、2004年度の途中から2005年度の研究課題の採択までの間に、大学の合併や名称変更などが行われている。2004年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、2005年4月1日現在における大学等の合併や改廃を考慮した合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記述が変更になったものもあり、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないの、注意されたい。

これらの研究種目については次の方法で分析する。

- (1) 各「系」について、2005年度の科学研究費補助金の採択研究課題数の総数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (2) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学等学部に対応するものもある。基本的には、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件以下の場合は省略し、2件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、調査件数が少ないことから、2005年度の単年度の分析の対象にはしなかった。この点については、現在の「細目表」が用いられる5年間の採択研究課題数の動向をいずれ見るときに改めて分析対象としたい。しかし、新「細目表」に改訂されて3年が経過し統計的に有意な調査件数となったため、テクニカルレポートをweb公開した後、3年間合計の「細目」別の解析を改めて検討し別の機会に発表することとしたい。

一方、特別研究員奨励費については、「KAKEN」に公開されているデータベース上では、基本的に2003年度に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では旧「細目表」が主に用いられ、2003年度に追加採用および2004年度以降に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では新「細目表」が用いられている。特別研究員が2年もしくは3年任期であることから、特別研究員奨励費の採択研究課題では、旧「細目表」により分類される研究課題と新「細目表」により分類される研究課題が混在している。

したがって、特別研究員奨励費については次の方法で分析する。

- (1) 特別研究員奨励費全体の採択研究課題の総数（新・旧「細目表」すべてを含む）による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (2) 研究コードが混在しているため、旧「細目表」の「部」と新「細目表」の「分野」を、文系（部：文学、法学、経済学／分野：人文学、社会科学）、理工系（部：理学、工学、農学／分野：数物系科学、化学、工学、生物学、農学）、医系（部：医学／分野：医歯薬学）、融合系（部：複合領域／分野：総合領域、複合新領域）の4つに統合する。この4つの「研究領域」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (3) 各「部」および各「分野」についても、採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件以下の場合は省略し、2件までの順位とする。なお、これらについては、「細目表」の変更をまたいでいるため個別の機関別順位には本質的な意味がないことに注意が必要である。

II. 個別課題研究費編：特別研究員奨励費

1 概要

特別研究員（最長任期3年）とは、「優れた若手研究員を養成・確保するため、自由な発想のもとに主体的な研究を進める機会を与える」ために、博士課程の在学者もしくは修了者が自ら日本学術振興会に申請し、審査による選考を経て採用された萌芽的な研究者といえる。特別研究員奨励費は、個別課題研究費の研究種目の一つであるが、日本学術振興会特別研究員が行う研究に対する助成（研究期間1年）であり、採用期間の間、毎年申請すれば基本的には申請した研究課題が採択されることになっている。したがって、特別研究員奨励費は基盤研究(S)、(A)、(B)、(C)、萌芽研究、若手研究等とは異なり、日本学術振興会の採用する特別研究員となることがこの研究費を得るための必須条件である。

特別研究員奨励費の採択・配分は科学研究費補助金の全ての研究細目にわたっている。2003年度の「細目表」の改訂によって、特別研究員奨励費以外の個別研究は新「細目表」を用いている。しかし、I章で述べたように、特別研究員として申請し採用された際にも科学研究費補助金の「細目表」を用いている。特別研究員の申請は前年度の5月上旬頃であるため、2003年度に採用された特別研究員が特別研究員奨励費を申請する際にも旧「細目表」を用いていた。2004年度に採用された特別研究員は基本的に新「細目表」を用いているため、2004年度の特別研究員奨励費では、新「細目表」と旧「細目表」が混在し、ほぼ同数となっている。特別研究員の任期は最長3年であるため、2005年度の特別研究員奨励費においても新「細目表」と旧「細目表」が混在している状況となっている。

新旧の「細目表」にかかわらず特別研究員奨励費全体での機関別採択研究課題数の上位50位を表2-1に、その棒グラフを図2-1に示す。図から明らかなように、東京大学が群を抜いており、京都大学がそれに続いている。旧帝国大学と東京工業大学までとそれ以降とではやや段差があり、以下、筑波大学、産業技術総合研究所、早稲田大学、慶應義塾大学と続き、あとはなだらかに減少する。この状況には、これまでと比較してほとんど変化がない。2005年度の採択研究課題数は、2004年度と比較すると全体で約13%伸びている。この中で、1位の東京大学が採択研究課題数を伸ばし、2位の京都大学との差を広げている。また、産業技術総合研究所、理化学研究所、物質・材料研究機構等の研究所が大幅に採択研究課題数を伸ばしている。

表2-1 特別研究員奨励費採択研究課題数上位50位(2005年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度		2004年度
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	1,161	1,088,462	1,075
2	国	京都大学	713	665,285	686
3	国	大阪大学	327	313,700	310
4	国	東北大学	292	274,600	255
5	国	北海道大学	247	233,800	200
6	国	名古屋大学	233	225,800	228
7	国	九州大学	230	219,300	183
8	国	東京工業大学	211	198,800	169
9	国	筑波大学	134	121,557	119
10	他	産業技術総合研究所	131	137,200	53
11	私	早稲田大学	125	113,300	112
12	私	慶應義塾大学	103	93,400	91
13	国	神戸大学	80	73,600	64
14	国	広島大学	79	72,600	65
15	国	一橋大学	60	50,800	57
16	国	岡山大学	53	51,700	40
17	国	奈良先端科学技術大学院大学	46	44,000	35
18	国	千葉大学	43	39,200	48
19	公	首都大学東京	41	38,200	50
20	公	大阪市立大学	35	32,100	30
21	他	理化学研究所	34	36,800	1
22	他	農業・生物系特定産業技術研究機構	31	32,800	12
22	他	物質・材料研究機構	31	26,000	4
24	国	熊本大学	30	29,300	22
25	国	横浜国立大学	29	26,800	19
25	国	岐阜大学	29	26,200	30
27	私	東京理科大学	27	24,500	26
28	私	上智大学	26	23,100	19
29	国	金沢大学	24	23,100	25
30	国	東京医科歯科大学	23	23,000	29
30	国	名古屋工業大学	23	22,200	17
32	他	高エネルギー加速器研究機構	22	20,500	32
33	他	農業生物資源研究所	20	21,500	9
34	他	森林総合研究所	19	20,600	8
34	私	日本大学	19	18,600	15
34	国	東京農工大学	19	17,800	24
34	私	立命館大学	19	16,100	14
38	国	電気通信大学	18	17,500	14
38	国	愛媛大学	18	17,300	21
38	国	総合研究大学院大学	18	16,300	12
41	国	新潟大学	17	16,480	17
42	国	信州大学	16	16,600	14
42	国	静岡大学	16	15,700	17
42	他	食品総合研究所	16	15,500	5
42	国	お茶の水女子大学	16	15,100	20
46	国	長崎大学	15	17,400	11
46	他	宇宙航空研究開発機構	15	17,313	17
46	公	横浜市立大学	15	16,200	12
46	国	琉球大学	15	12,800	14
46	私	関西学院大学	15	12,500	11
合計			5,884	5,601,187	5,186

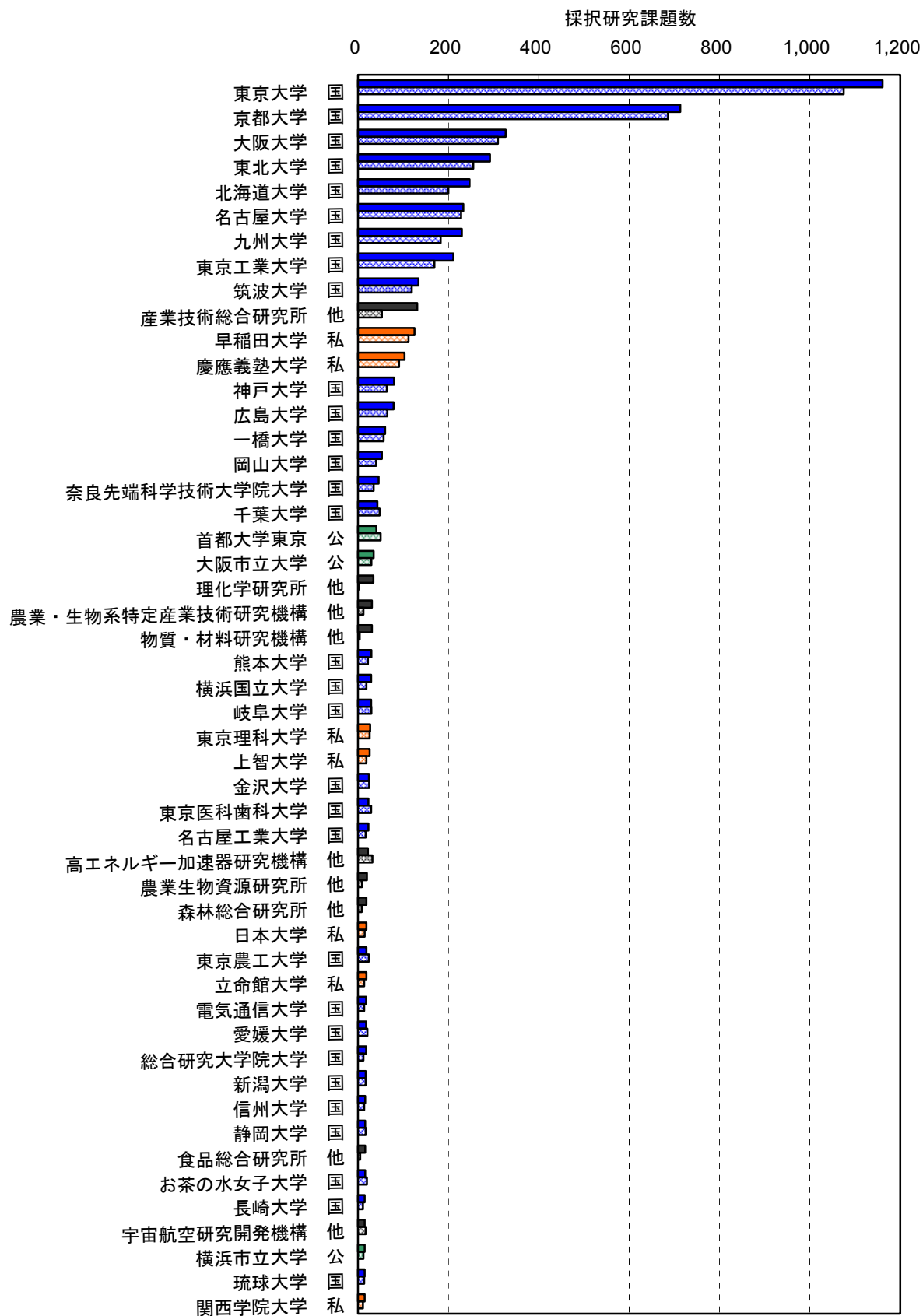


図 2 - 1 特別研究員奨励費採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

上位 15 機関の相対的な特別研究員奨励費の採択研究課題数の割合を見るために、円グラフにして図 2-2 に示す。東京大学から東京工業大学の上位 8 機関で全採択研究課題数の約 58%、15 位の一橋大学までで約 70%を占める。表 2-1 に示した 50 位までで全体の実に約 85%を占めている。このグラフはわが国の研究者の養成・確保に対する旧帝国大学系総合大学の役割の重さを如実にあらわしている。この傾向は 2003 年度とほとんど変わっていない。上位 8 機関は順位も含めて変化していないが、その占める割合はここ数年やや減少し続けている。

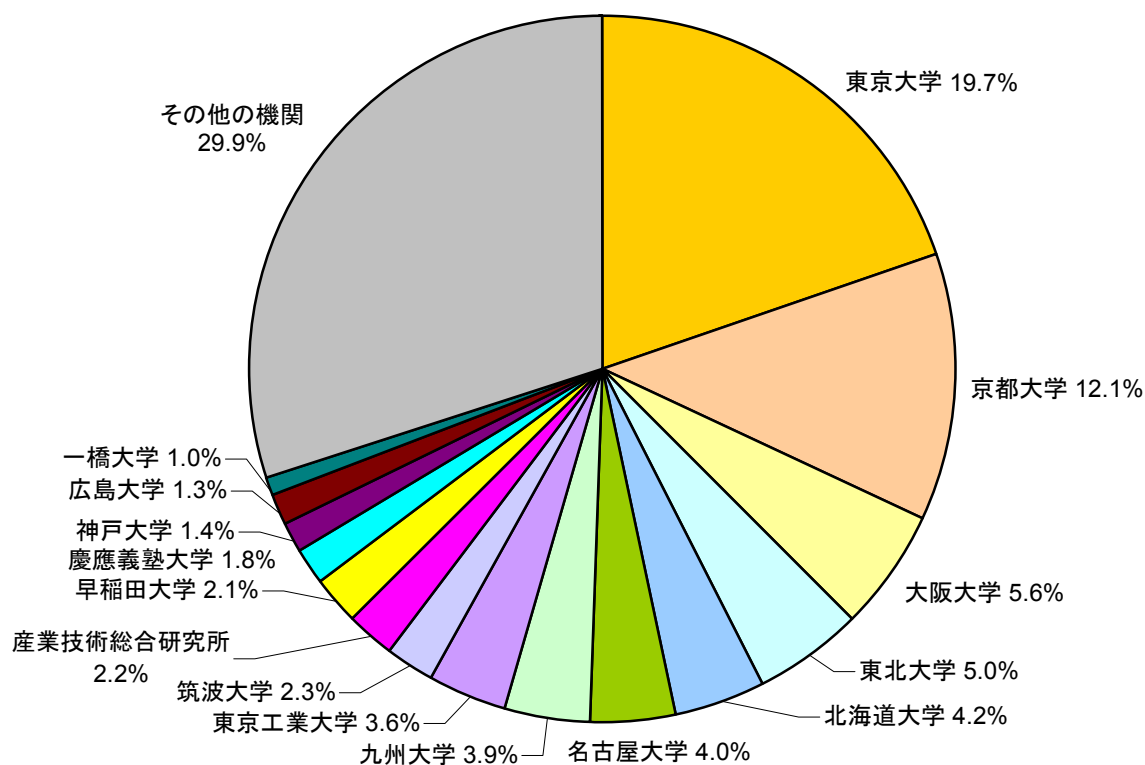


図 2-2 特別研究員奨励費上位 15 機関とその他の機関との相対的採択研究課題数の割合 (2005 年度)

他の個別課題研究費と同様に、特別研究員奨励費も「分野」別に研究機関ごとの採択研究課題数について整理していきたいが、1 章で述べたように特別研究員奨励費の場合には新旧両方の「細目表」により申請が行われているという特殊な事情がある。特別研究員奨励費全体の採択研究課題数を旧「細目表」の「部」または新「細目表」の「分野」別に表 2-2 に示し、「部」および「分野」別の分布を図 2-3 の円グラフに示す。図からわかるように新「細目表」による採択研究課題が約 80%を占めている。依然として「細目表」によって「部」または「分野」別に各研究機関の役割を論ずることは難しいといえる。なお、「KAKEN」に登録されている採択された特別研究員奨励費のうち、52 件については「細目」の記載がないため、表 2-1 と表 2-2 の合計欄の件数や金額が異なっている。

表 2-2 特別研究員奨励費「部」または「分野」別 採択研究課題数（2005 年度）

金額単位/千円

部または分野		件数	金額
旧細目表	文学	187	161,682
	法学	24	20,000
	経済学	23	18,200
	理学	299	287,570
	工学	208	180,880
	農学	152	142,200
	医学	78	72,100
	複合領域	181	174,900
	小計	1,152	1,057,532
新細目表	総合領域	376	359,685
	複合新領域	257	249,500
	人文学	407	342,600
	社会科学	429	375,100
	数物系科学	629	611,480
	化学	437	423,500
	工学	681	662,690
	生物学	515	515,600
	農学	517	519,800
	医歯薬学	432	432,100
	小計	4,680	4,492,055
合計	5,832	5,549,587	

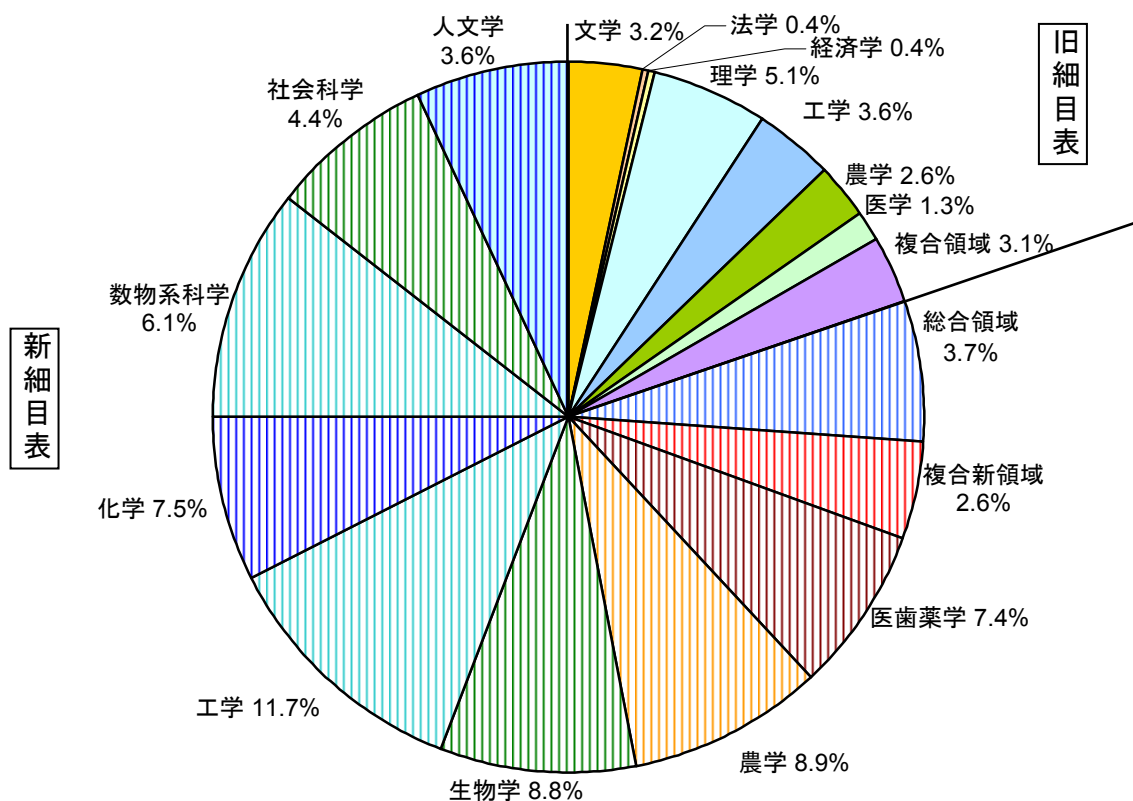


図 2-3 特別研究員奨励費「部」または「分野」別 採択研究課題数の割合（2005 年度）

そこで、「部」または「分野」に代わる研究領域として、文系、理工系、医系、融合系の4つの研究領域を考え、この研究領域に「部」および「分野」を表2-3に示すように振りわけた。それぞれの採択研究課題数を含めた結果を表2-3に示し、2003年度と比較して円グラフにしたものを図2-4に示す。

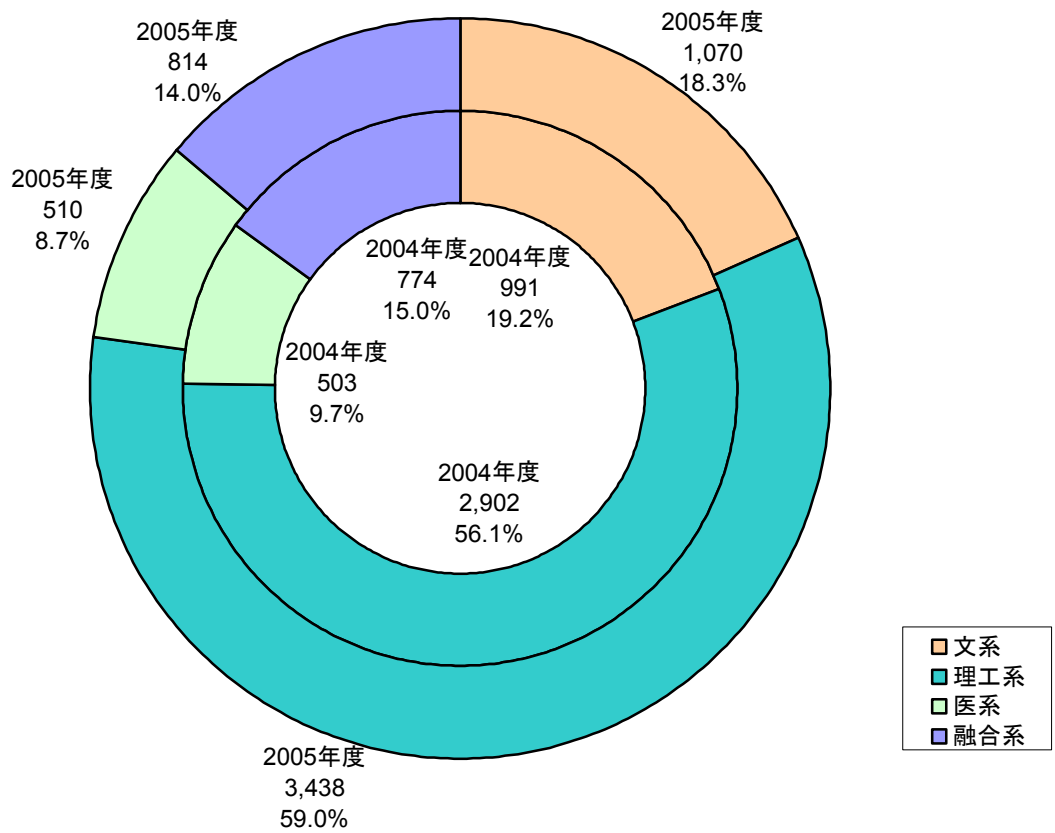
このような研究領域にわけてみると、2003年度と比較して分布には大きな変化がないように見える。しかし、表2-3からわかるように、全体として採択研究課題数が増えたにもかかわらず、医系や融合系では採択研究課題数の伸び率が小さく、理工系では採択研究課題数の伸び率は大きい。

以下、この研究領域別に、採択研究課題数による機関別順位を整理していくこととする。なお、「部」および「分野」別に各研究機関の役割を論ずることは難しく、また、2004年度の採択研究課題数との比較も難しいため、参考として上位30位までの採択研究課題数の表のみ示すこととする。

表2-3 特別研究員奨励費「研究領域」別 採択研究課題数（2005年度）

研究領域	細目表	部または分野	2005年度		2004年度 件数
			件数	金額	
			金額単位/千円		
文系	旧	文学	187	161,682	450
	旧	法学	24	20,000	68
	旧	経済学	23	18,200	61
	新	人文学	407	342,600	186
	新	社会科学	429	375,100	226
	小計		1,070	917,582	991
理工系	旧	理学	299	287,570	744
	旧	工学	208	180,880	501
	旧	農学	152	142,200	323
	新	数物系科学	629	611,480	315
	新	化学	437	423,500	193
	新	工学	681	662,690	323
	新	生物学	515	515,600	253
	新	農学	517	519,800	250
	小計		3,438	3,343,720	2,902
医系	旧	医学	78	72,100	263
	新	医歯薬学	432	432,100	240
	小計		510	504,200	503
融合系	旧	複合領域	181	174,900	447
	新	総合領域	376	359,685	192
	新	複合新領域	257	249,500	135
	小計		814	784,085	774
合計			5,832	5,549,587	5,170

図 2 - 4 2004 年度(内周)と 2005 年度(外周)の特別研究員奨励費「研究領域」別
採択研究課題数



2 研究領域別

2-1 文系

新「細目表」の人文社会系の分野：人文学、社会科学に、旧「細目表」の中で大まかに対応するのは、部：文学、法学、経済学である。これらを文系として合計した全体での機関別採択研究課題数を表2-4に、その棒グラフを図2-5に示す。

文系の特別研究員奨励費の採択研究課題数については、東京大学と京都大学が他の機関を圧倒していることがわかる。東京大学が文系全体の約1/4となる23.4%、京都大学が13.6%、私立大学最上位の早稲田大学が4.8%である。文系全体としてみれば、特別研究員は、東京大学と京都大学を除けば非常に幅広く所属しており、私立大学や研究所等にも多い。しかし、単年度のため採択研究課題数が少なく、上位の2大学を除けば機関別順位やその占める割合に統計的に意味があるかどうかは不明である。

2004年度と比較して、その順位には大きな変動がないことがわかる。ただし、文系全体の採択研究課題数は前年度比8.0%しか伸びていない。また、上位20位では、名古屋大学、広島大学、立命館大学などが大幅に採択研究課題数を伸ばし、首都大学東京、東京外国語大学、千葉大学などが採択研究課題数を減らしている。

以下、旧「細目表」の部：文学、法学、経済学、および新「細目表」の分野：人文学、社会科学について、上位30位までを表にまとめ、表2-5～2-6に示す。どの「部」および「分野」においても、東京大学と京都大学が1位と2位を占めている。3位以下に各大学の特徴が現れているとも言えるが、同じ研究分野と考えられるものが新旧の「細目表」にまたがるため、これらの順位にどの程度の意味があるかはよくわからない。

表2-4 文系 採択研究課題数上位50位(2005年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度		2004年度
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	250	214,182	237
2	国	京都大学	146	119,400	143
3	国	一橋大学	56	46,600	55
4	私	早稲田大学	51	42,700	45
5	国	名古屋大学	44	40,600	32
5	国	大阪大学	44	37,300	41
7	国	北海道大学	37	29,100	30
8	国	東北大学	36	31,200	31
9	国	筑波大学	33	25,800	33
10	私	慶應義塾大学	29	26,200	28
11	国	九州大学	28	24,100	22
12	国	神戸大学	21	15,000	16
13	国	広島大学	18	14,500	12
14	私	上智大学	16	14,500	13
15	公	首都大学東京	15	12,300	21
16	私	立命館大学	12	9,600	6
17	公	大阪市立大学	11	9,600	9
18	国	東京外国語大学	10	7,600	19
19	他	国立民族学博物館	9	8,000	8
19	国	東京芸術大学	9	7,800	7
19	国	千葉大学	9	6,500	15
22	私	関西学院大学	8	6,600	5
23	国	お茶の水女子大学	7	6,400	9
23	私	中央大学	7	5,700	5
25	私	法政大学	6	6,500	3
25	他	国際日本文化研究センター	6	5,100	8
27	私	学習院大学	5	5,000	1
27	私	國學院大學	5	4,700	5
27	他	東洋文庫	5	4,700	7
27	私	立教大学	5	4,600	7
27	他	国文学研究資料館	5	4,500	4
27	私	同志社大学	5	4,400	5
27	国	総合研究大学院大学	5	4,300	2
34	他	産業技術総合研究所	4	6,300	1
34	私	大谷大学	4	4,200	3
34	他	国立精神・神経センター	4	4,000	4
34	私	明治大学	4	3,500	2
34	国	奈良女子大学	4	3,400	6
34	私	日本大学	4	3,100	5
34	国	横浜国立大学	4	3,000	1
41	私	青山学院大学	3	3,900	3
41	国	東京学芸大学	3	2,900	3
41	私	津田塾大学	3	2,700	2
41	私	神奈川大学	3	2,600	3
41	国	政策研究大学院大学	3	2,100	3
41	公	沖縄県立芸術大学	3	2,000	2
47	私	聖心女子大学	2	2,300	0
47	公	神戸市外国語大学	2	2,200	3
47	私	国際基督教大学	2	2,200	2
47	私	大正大学	2	2,200	1
47	他	国立教育政策研究所	2	2,200	5
47	私	玉川大学	2	2,000	1
47	国	茨城大学	2	1,800	2
47	私	成蹊大学	2	1,800	1
47	私	東洋大学	2	1,800	2
47	私	九州産業大学	2	1,600	1
47	他	国立歴史民俗博物館	2	1,600	2
47	国	岡山大学	2	1,300	1
		合計	1,070	917,582	991

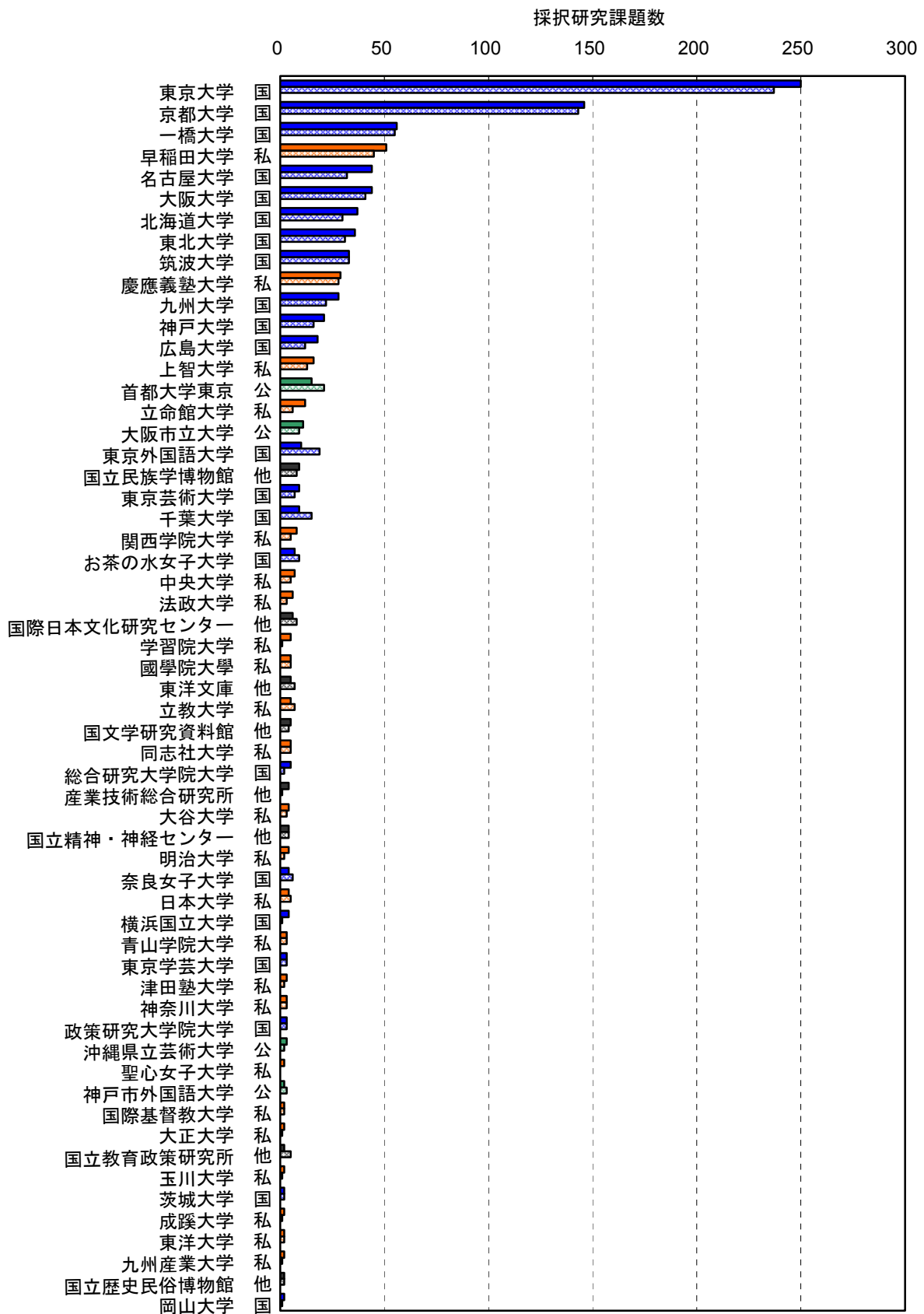


図2-5 文系 採択研究課題数上位50位 (2005年度)

表2-5 文系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位30位(2005年度)(1)

金額単位/千円

文学					法学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	38	33,982	1	国	東京大学	6	4,600
2	国	京都大学	28	23,800	2	国	京都大学	5	4,300
3	国	名古屋大学	8	6,300	3	私	立教大学	2	2,100
3	国	筑波大学	8	5,600	3	国	大阪大学	2	1,300
5	私	慶應義塾大学	7	6,300					
5	国	東北大学	7	6,100	合計			24	20,000
5	私	早稲田大学	7	5,900					
8	国	大阪大学	5	4,700					
8	国	東京芸術大学	5	4,500					
8	国	一橋大学	5	4,100					
11	他	国立民族学博物館	4	3,600					
11	私	上智大学	4	3,400					
11	国	東京外国語大学	4	3,000					
14	他	国際日本文化研究センター	3	2,900					
14	国	北海道大学	3	2,800	経済学				
14	国	お茶の水女子大学	3	2,600	順位	種別	機関名	件数	金額
14	国	奈良女子大学	3	2,500	1	国	東京大学	5	4,500
14	国	千葉大学	3	2,200	1	国	京都大学	5	3,800
19	公	首都大学東京	2	2,200	3	国	一橋大学	3	2,300
19	他	国文学研究資料館	2	2,200					
19	他	国立精神・神経センター	2	2,200	合計			23	18,200
19	国	九州大学	2	1,800					
19	私	東洋大学	2	1,800					
19	私	大谷大学	2	1,800					
19	他	東洋文庫	2	1,400					
19	私	立命館大学	2	1,200					
19	私	明治大学	2	1,100					
合計			187	161,682					

表 2-6 文系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度) (2)

金額単位/千円

人文学					社会科学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	105	87,400	1	国	東京大学	96	83,700
2	国	京都大学	56	43,400	2	国	京都大学	52	44,100
3	私	早稲田大学	22	17,600	3	国	一橋大学	37	31,800
4	国	大阪大学	19	16,400	4	国	名古屋大学	26	25,500
5	国	九州大学	14	11,800	5	私	早稲田大学	20	17,800
6	国	筑波大学	13	10,500	5	国	北海道大学	20	16,400
6	国	北海道大学	13	9,200	7	国	大阪大学	18	14,900
8	国	東北大学	12	10,000	8	国	東北大学	15	13,100
9	公	首都大学東京	11	8,500	9	国	神戸大学	14	9,900
10	私	上智大学	10	9,500	10	国	九州大学	12	10,500
10	国	一橋大学	10	7,400	10	私	慶應義塾大学	12	10,500
12	私	慶應義塾大学	9	8,300	12	国	広島大学	11	9,100
12	国	名古屋大学	9	8,000	12	国	筑波大学	11	8,900
14	私	立命館大学	7	6,600	14	私	関西学院大学	7	5,800
15	公	大阪市立大学	6	5,400	15	公	大阪市立大学	5	4,200
15	国	広島大学	6	4,500	16	国	横浜国立大学	4	3,000
17	国	神戸大学	5	4,500	16	私	中央大学	4	2,900
17	国	千葉大学	5	3,600	18	他	産業技術総合研究所	3	5,200
17	国	東京外国語大学	5	3,500	18	国	お茶の水女子大学	3	3,100
20	他	国立民族学博物館	4	3,700	18	私	法政大学	3	3,100
20	国	東京芸術大学	4	3,300	18	私	同志社大学	3	3,000
22	他	東洋文庫	3	3,300	18	国	政策研究大学院大学	3	2,100
22	国	総合研究大学院大学	3	2,900	18	私	立命館大学	3	1,800
22	私	学習院大学	3	2,800	24	私	学習院大学	2	2,200
22	私	國學院大學	3	2,700	24	私	日本大学	2	2,000
22	他	国文学研究資料館	3	2,300	24	国	東京学芸大学	2	1,800
27	私	法政大学	2	2,700	24	私	立教大学	2	1,800
27	私	大谷大学	2	2,400	24	他	国立精神・神経センター	2	1,800
27	私	神奈川大学	2	2,000	24	公	首都大学東京	2	1,600
27	私	中央大学	2	1,700	24	国	総合研究大学院大学	2	1,400
27	他	国立歴史民俗博物館	2	1,600					
27	他	国際日本文化研究センター	2	1,500					
27	私	同志社大学	2	1,400					
27	公	沖縄県立芸術大学	2	1,300					
27	私	日本大学	2	1,100					
		合計	407	342,600			合計	429	375,100

2-2 理工系

旧「細目表」の部：理学、工学、農学に新「細目表」の中で大まかに対応するのは、理工系の分野：数物系科学、化学、工学と、生物系の分野：生物学、農学である。これらを理工系として合計した全体での機関別採択研究課題数を表2-7に、その棒グラフを図2-6に示す。

理工系の特別研究員奨励費の採択研究課題数についても、東京大学と京都大学が上位を占めるが、文系の場合ほど他の研究機関との差は大きくない。しかし、文系と比較して、国立大学が上位を占め、旧帝国大学と東京工業大学に全体の約60%が集中し、公立大学や私立大学が占める割合が小さいことがわかる。東京大学が全体の約1/5の19.1%、京都大学が12.0%、私立大学最上位の早稲田大学が1.8%である。しかし、単年度のため採択研究課題数が少なく、20位以下の機関別順位やその占める割合に統計的に意味があるかどうかは不明である。

2004年度と比較すると、その順位には大きな変動がないことがわかる。理工系全体の採択研究課題数は前年度比18.5%伸びており、特別研究員奨励費全体の採択研究課題数の伸びよりも大きい。上位の旧帝国大学と東京工業大学が占める割合は、2003年度の67.4%から徐々に減少している。また、産業技術総合研究所、農業・生物系特定産業技術研究機構、理化学研究所などの研究機関が採択研究課題数を大きく伸ばしており、上位に進出していることがわかる。これは、学位取得後に特別研究員へ採用される場合(PD)に、学位を取得した研究室から異動することが原則となったために、他の研究機関に異動するものが増えたことが原因の一つと考えられる。

以下、旧「細目表」の部：理学、工学、農学、および新「細目表」の分野：数物系科学、化学、工学、生物学、農学について、上位30位までを表にまとめ、表2-8～2-11に示す。どの「部」および「分野」においても、東京大学の強さが目立つ。しかし、「部」や「分野」によっては、東京大学と他の大学との差が小さいところもあり、文系と比較して東京大学の強さは目立たない。文系と同様に、3位以下に各大学の特徴が現れているともいえるが、同じ研究分野と考えられるものが新旧の「細目表」にまたがるため、これらの順位にどの程度の意味があるかはよくわからない。

表2-7 理工系 採択研究課題数上位50位 (2005年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度		2004年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	656	630,780	583
2	国	京都大学	413	399,300	388
3	国	東北大学	199	187,600	167
4	国	大阪大学	186	182,000	148
5	国	東京工業大学	167	159,500	145
6	国	北海道大学	155	153,400	131
7	国	九州大学	144	137,600	106
8	国	名古屋大学	138	137,100	144
9	他	産業技術総合研究所	108	111,200	43
10	私	早稲田大学	61	58,600	58
11	国	筑波大学	60	56,157	46
12	国	広島大学	47	44,700	38
13	国	神戸大学	44	43,500	34
14	国	岡山大学	41	40,700	33
14	私	慶應義塾大学	41	37,000	35
16	他	農業・生物系特定産業技術研究機構	30	31,700	11
16	国	奈良先端科学技術大学院大学	30	29,700	26
18	他	物質・材料研究機構	29	23,600	4
19	他	理化学研究所	26	28,400	1
20	公	首都大学東京	23	22,800	27
20	国	横浜国立大学	23	22,000	16
22	国	熊本大学	22	21,200	14
23	他	高エネルギー加速器研究機構	21	20,000	32
24	他	農業生物資源研究所	20	21,500	9
24	国	名古屋工業大学	20	18,700	15
24	私	東京理科大学	20	17,900	20
24	国	岐阜大学	20	17,200	24
28	他	森林総合研究所	19	20,600	8
29	国	千葉大学	18	18,000	19
30	他	食品総合研究所	16	15,500	5
30	国	東京農工大学	16	15,300	23
30	公	大阪市立大学	16	15,200	15
33	他	宇宙航空研究開発機構	15	17,313	17
34	国	静岡大学	14	13,600	11
34	国	新潟大学	14	13,480	11
34	国	愛媛大学	14	13,100	12
34	国	電気通信大学	14	12,900	12
38	他	国立天文台	13	13,200	13
39	他	海洋研究開発機構	12	12,700	2
39	国	長岡技術科学大学	12	10,800	6
39	国	三重大学	12	9,500	11
42	公	横浜市立大学	11	11,700	5
42	国	琉球大学	11	9,900	10
44	私	日本大学	10	10,000	7
44	公	大阪府立大学	10	9,700	13
44	国	埼玉大学	10	9,500	11
44	国	信州大学	10	9,400	11
48	他	基礎生物学研究所	9	12,200	12
48	他	国立遺伝学研究所	9	10,900	7
48	国	鳥取大学	9	9,700	12
48	国	金沢大学	9	8,500	10
48	国	岩手大学	9	8,300	8
48	他	農業環境技術研究所	9	7,500	0
合計			3,438	3,343,720	2,902

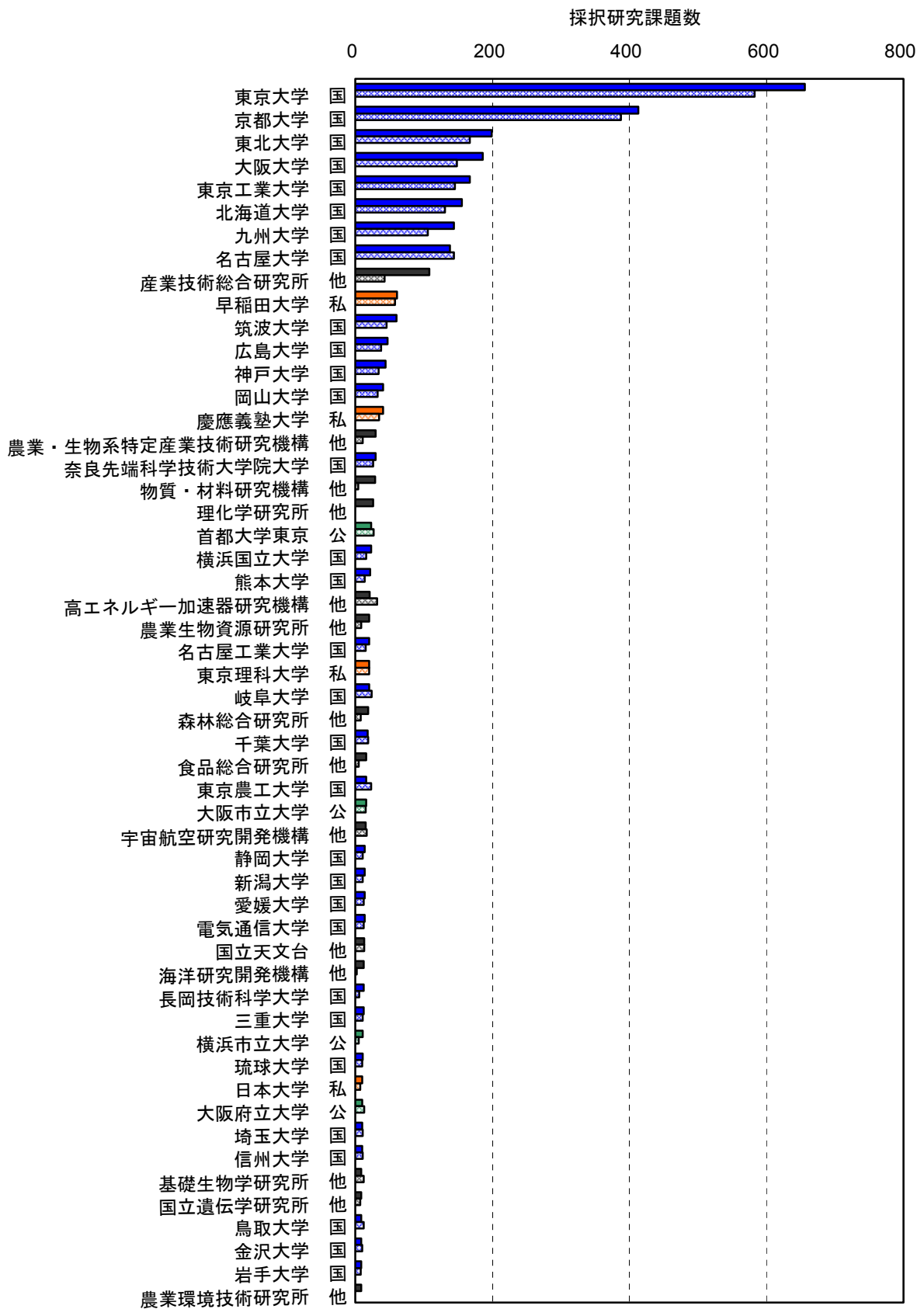


図 2-6 理工系 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

表2-8 理工系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位30位(2005年度)(1)

金額単位/千円

理学					工学(旧「細目表」)				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	57	53,500	1	国	東京大学	39	34,880
2	国	京都大学	46	45,100	2	国	京都大学	20	17,900
3	国	大阪大学	16	16,200	3	国	東北大学	13	12,000
4	国	名古屋大学	14	14,300	3	他	産業技術総合研究所	13	12,000
4	他	産業技術総合研究所	14	14,200	5	国	大阪大学	12	10,500
6	国	北海道大学	12	11,400	6	国	九州大学	11	9,700
7	国	東北大学	11	10,000	7	私	早稲田大学	10	7,700
8	国	筑波大学	10	8,557	8	国	東京工業大学	7	6,600
9	国	東京工業大学	9	8,500	9	国	名古屋大学	6	5,800
10	国	九州大学	8	8,900	9	他	物質・材料研究機構	6	3,400
11	他	高エネルギー加速器研究機構	7	6,600	11	国	筑波大学	5	4,200
12	国	岡山大学	6	5,700	11	私	慶應義塾大学	5	4,100
13	国	静岡大学	5	5,100	11	国	岐阜大学	5	3,700
14	他	国立科学博物館	4	4,400	14	国	北海道大学	4	3,300
14	他	宇宙航空研究開発機構	4	4,313	15	国	東京農工大学	3	3,000
14	国	神戸大学	4	4,000	15	国	熊本大学	3	2,900
14	公	首都大学東京	4	3,600	15	国	奈良先端科学技術大学院大学	3	2,800
14	公	大阪市立大学	4	3,500	18	国	電気通信大学	2	2,300
19	国	千葉大学	3	3,300	18	国	広島大学	2	2,000
19	国	新潟大学	3	3,300	18	国	埼玉大学	2	1,800
19	他	統計数理研究所	3	3,300	18	国	長岡技術科学大学	2	1,800
19	私	早稲田大学	3	3,100	18	国	豊橋技術科学大学	2	1,800
19	他	国立天文台	3	2,800	18	他	宇宙航空研究開発機構	2	1,700
19	私	名城大学	3	2,600	18	国	千葉大学	2	1,500
25	国	琉球大学	2	1,900	18	国	横浜国立大学	2	1,500
25	他	海洋研究開発機構	2	1,800	18	国	名古屋工業大学	2	1,500
25	他	国立極地研究所	2	1,700	18	他	港湾空港技術研究所	2	1,500
25	私	東京理科大学	2	1,600	18	他	理化学研究所	2	1,200
25	他	物質・材料研究機構	2	1,600					
25	他	理化学研究所	2	1,400					
25	国	電気通信大学	2	1,300					
25	国	島根大学	2	1,300					
25	国	広島大学	2	900					
合計			299	287,570	合計			208	180,880

表2-9 理工系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位30位(2005年度)(2)

金額単位/千円

農学(旧「細目表」)					数物系科学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	16	15,100	1	国	東京大学	186	176,400
2	国	京都大学	15	13,900	2	国	京都大学	97	95,400
3	他	農業・生物系特定産業技術研究機構	12	11,700	3	国	東京工業大学	37	36,300
4	国	名古屋大学	9	8,300	3	国	東北大学	37	33,900
5	他	農業生物資源研究所	8	8,400	5	国	名古屋大学	27	26,500
6	国	東北大学	6	5,600	6	国	大阪大学	26	25,200
7	他	食品総合研究所	5	4,000	7	国	北海道大学	23	25,000
7	国	北海道大学	5	3,800	8	国	九州大学	19	17,600
7	国	三重大学	5	3,400	9	私	早稲田大学	12	12,300
10	他	産業技術総合研究所	4	4,400	10	国	広島大学	11	11,100
11	国	岡山大学	3	2,900	10	他	高エネルギー加速器研究機構	11	10,600
11	他	水産総合研究センター	3	2,600	12	他	国立天文台	10	10,400
11	国	岐阜大学	3	2,100	12	国	岡山大学	10	10,200
14	他	国立環境研究所	2	2,200	12	国	神戸大学	10	9,100
14	他	国際農林水産業研究センター	2	2,200	15	他	産業技術総合研究所	8	8,600
14	他	森林総合研究所	2	2,200	15	私	慶應義塾大学	8	7,000
14	国	筑波大学	2	2,000	17	他	海洋研究開発機構	7	7,300
14	国	金沢大学	2	2,000	18	他	宇宙航空研究開発機構	6	7,800
14	国	九州大学	2	2,000	18	国	筑波大学	6	5,300
14	国	愛媛大学	2	1,900	20	国	新潟大学	4	4,280
14	国	鹿児島大学	2	1,900	20	他	物質・材料研究機構	4	3,300
14	国	神戸大学	2	1,700	22	国	熊本大学	3	3,600
14	国	鳥取大学	2	1,700	22	私	岡山理科大学	3	3,600
14	国	島根大学	2	1,300	22	私	上智大学	3	3,100
14	国	東京農工大学	2	1,200	22	国	横浜国立大学	3	3,000
14	国	広島大学	2	1,100	22	公	首都大学東京	3	2,900
					22	私	日本大学	3	2,900
					22	私	東京理科大学	3	2,700
					22	他	理化学研究所	3	2,700
					22	国	愛媛大学	3	2,400
					22	公	大阪市立大学	3	2,200
合計			152	142,200	合計			629	611,480

表 2-10 理工系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度) (3)

金額単位/千円

化学					工学(新「細目表」)				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	60	58,900	1	国	東京大学	112	111,300
2	国	京都大学	58	56,600	2	国	東京工業大学	69	67,800
3	国	大阪大学	39	37,400	3	国	東北大学	66	63,500
4	国	九州大学	37	35,400	4	国	大阪大学	51	48,400
5	国	東京工業大学	30	26,900	5	国	京都大学	47	43,100
6	国	東北大学	23	23,600	6	他	産業技術総合研究所	32	33,700
7	他	産業技術総合研究所	22	22,800	7	国	名古屋大学	22	20,800
8	国	北海道大学	21	21,300	8	国	九州大学	21	18,700
9	私	早稲田大学	14	13,200	9	国	北海道大学	19	19,600
10	国	名古屋大学	13	14,500	10	私	慶應義塾大学	15	14,100
11	私	慶應義塾大学	10	8,900	11	私	早稲田大学	14	13,900
12	国	筑波大学	8	7,400	11	他	物質・材料研究機構	14	13,300
13	公	大阪市立大学	6	6,200	13	国	広島大学	11	10,900
13	公	首都大学東京	6	5,900	13	国	名古屋工業大学	11	9,400
13	他	理化学研究所	6	5,500	15	国	横浜国立大学	10	9,500
16	国	広島大学	5	5,000	16	国	筑波大学	9	8,100
16	国	奈良先端科学技術大学院大学	5	4,700	17	国	神戸大学	8	7,700
16	公	大阪府立大学	5	4,600	17	国	電気通信大学	8	7,200
16	国	熊本大学	5	4,000	19	国	長岡技術科学大学	7	6,600
20	国	名古屋工業大学	4	4,500	20	公	首都大学東京	6	6,500
20	国	横浜国立大学	4	3,900	20	国	奈良先端科学技術大学院大学	6	6,100
20	私	関西学院大学	4	3,500	20	国	岡山大学	6	5,400
23	国	神戸大学	3	3,200	23	国	熊本大学	5	5,100
23	私	甲南大学	3	2,800	23	国	豊橋技術科学大学	5	4,900
23	国	岡山大学	3	2,700	23	私	東京理科大学	5	4,500
23	私	東京理科大学	3	2,700	23	他	核融合科学研究所	5	4,500
23	他	物質・材料研究機構	3	2,000	27	国	埼玉大学	4	4,300
					27	国	岐阜大学	4	4,300
					29	他	宇宙航空研究開発機構	3	3,500
					29	国	東京農工大学	3	3,400
					29	国	千葉大学	3	3,300
					29	国	福井大学	3	3,300
					29	国	静岡大学	3	3,000
					29	私	上智大学	3	3,000
					29	私	東京工芸大学	3	2,000
合計			437	423,500	合計			681	662,690

表2-1-1 理工系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位30位(2005年度)(4)

金額単位/千円

生物学					農学(新「細目表」)				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	91	86,800	1	国	東京大学	95	93,900
2	国	京都大学	75	73,400	2	国	京都大学	55	53,900
3	国	大阪大学	40	42,100	3	国	北海道大学	43	41,800
4	国	北海道大学	28	27,200	4	国	東北大学	28	25,800
5	国	名古屋大学	24	23,800	5	国	九州大学	24	22,300
6	国	九州大学	22	23,000	6	国	名古屋大学	23	23,100
7	国	東北大学	15	13,200	7	他	農業・生物系特定産業技術研究機構	18	20,000
8	国	東京工業大学	14	12,400	8	他	森林総合研究所	14	14,900
9	国	奈良先端科学技術大学院大学	11	10,800	9	他	食品総合研究所	11	11,500
10	他	理化学研究所	10	12,300	10	国	筑波大学	10	10,500
10	公	横浜市立大学	10	10,500	11	国	神戸大学	9	9,400
10	国	筑波大学	10	10,100	11	国	広島大学	9	9,000
13	他	産業技術総合研究所	9	9,500	13	国	岡山大学	8	8,500
14	他	国立遺伝学研究所	8	9,800	13	他	農業生物資源研究所	8	8,500
14	国	神戸大学	8	8,400	13	他	農業環境技術研究所	8	7,100
16	他	基礎生物学研究所	7	8,100	16	国	岩手大学	7	6,400
17	他	岡崎共通研究施設	6	6,700	17	国	鳥取大学	6	7,100
17	私	早稲田大学	6	6,200	17	私	日本大学	6	6,000
19	国	岡山大学	5	5,300	17	他	産業技術総合研究所	6	6,000
19	国	総合研究大学院大学	5	4,700	17	国	東京農工大学	6	5,800
19	国	広島大学	5	4,700	17	国	宮崎大学	6	5,700
19	国	熊本大学	5	4,700	17	国	岐阜大学	6	5,400
19	私	東京理科大学	5	4,500	23	国	千葉大学	5	5,400
24	他	農業生物資源研究所	4	4,600	23	国	愛媛大学	5	4,800
24	国	信州大学	4	3,800	25	国	帯広畜産大学	4	4,700
24	国	金沢大学	4	3,600	25	国	琉球大学	4	4,300
24	公	兵庫県立大学	4	3,600	25	国	奈良先端科学技術大学院大学	4	4,200
28	国	名古屋工業大学	3	3,300	25	私	近畿大学	4	4,100
28	国	奈良女子大学	3	3,200	25	国	東京海洋大学	4	3,500
28	私	久留米大学	3	3,200	30	他	水産総合研究センター	3	3,300
28	国	愛媛大学	3	3,100	30	国	横浜国立大学	3	3,000
28	公	首都大学東京	3	3,000	30	公	大阪府立大学	3	3,000
28	私	東京薬科大学	3	3,000	30	国	信州大学	3	2,800
28	国	琉球大学	3	2,900	30	国	高知大学	3	2,300
28	私	立教大学	3	2,900					
28	国	千葉大学	3	2,500					
		合計	515	515,600			合計	517	519,800

2-3 医系

新「細目表」の生物系の分野：医歯薬学にほぼ対応するのは、旧「細目表」の部：医学である。これらを医系として合計した全体での機関別採択研究課題数を表2-12に、その棒グラフを図2-7に示す。

特別研究員奨励費以外の個別研究種目について「分野」別にみると、図1-3で示したように分野：医歯薬学が採択研究課題数全体の約30%を占める。これに対して、特別研究員奨励費の採択研究課題数については、図2-4で示すように、医系が全体の9%弱に過ぎない。文系と異なり、大学院博士課程在學生に占める医系の割合が大きいにもかかわらず、医系全体の特別研究員奨励費の採択研究課題数が少ない。これは、研究者からの申請書に基づき審査される個別課題研究の採択研究課題数は研究者総数もしくは申請総数に依存するため、医系において特別研究員となっている者の数が少ないためであろう。医系分野の博士課程の在學者または修了者は、研究者としてよりも高度職業人として研鑽を積むことを念頭におく者が多いとも考えられる。また、学部を卒業し資格のための国家試験に合格すれば、医師等の国家資格を有するため、これらの資格を用いて得る収入が特別研究員としての収入より高額となるためかもしれない。

医系では、東京大学が15.3%、京都大学が10.8%であり、旧帝国大学と東京医科歯科大学と筑波大学に全体の58.4%が集中している。6位の東京医科歯科大学を筆頭に保健系の単科大学が数多く顔を出しており、私立大学最上位の京都薬科大学、慶應義塾大学が1.8%であり、公立大学最上位の名古屋市立大学が1.2%である。しかし、単年度のため10位以下の採択研究課題数が少なく、10位ですでに10件に過ぎないため、機関別順位やその占める割合に統計的に意味があるかどうかは不明である。

2004年度と比較すると、その順位には大きな変動がないことがわかる。医系全体の採択研究課題数は前年度とほとんど変化がない。上位の旧帝国大学、東京医科歯科大学と筑波大学が占める割合は、2003年度の63.7%から徐々に減少してきている。下位をみると、前年度の採択研究課題数がなかった機関がいくつも表れており、特別研究員が全国の機関に幅広く分布するような動きがあると思われる。

以下、旧「細目表」の部：医学、および新「細目表」の分野：医歯薬学について、上位30位までを表にまとめ、表2-13に示す。文系や理工系とは異なり、旧「細目表」の部：医学と新「細目表」の分野：医歯薬学はほぼ対応するため、旧「細目表」の部：医学は2003年度までに採用された特別研究員による機関別順位に相当し、新「細目表」の分野：医歯薬学では、2004年度以降に採用された特別研究員による機関別順位に相当する。

表2-12 医系 採択研究課題数上位50位(2005年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度		2004年度
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	78	74,400	87
2	国	京都大学	55	55,200	53
3	国	大阪大学	49	48,400	55
4	国	九州大学	23	23,100	25
4	国	北海道大学	23	21,500	17
6	国	東京医科歯科大学	19	19,200	24
7	国	名古屋大学	18	16,300	13
8	国	東北大学	17	16,300	18
9	国	筑波大学	16	15,400	19
10	国	岡山大学	10	9,700	6
10	国	千葉大学	10	9,100	8
12	私	京都薬科大学	9	8,700	7
12	私	慶應義塾大学	9	8,200	8
14	国	長崎大学	8	9,800	4
14	国	徳島大学	8	8,100	7
14	国	神戸大学	8	7,600	6
17	国	熊本大学	7	6,900	6
18	公	名古屋市立大学	6	6,800	4
19	公	札幌医科大学	5	5,700	4
19	私	神戸薬科大学	5	5,400	5
19	国	広島大学	5	5,000	4
22	国	富山医科薬科大学	4	4,500	2
22	国	群馬大学	4	4,100	2
22	国	福井大学	4	4,000	5
22	国	金沢大学	4	3,800	6
22	私	東京理科大学	4	3,700	4
27	他	国立循環器病センター	3	5,200	2
27	国	信州大学	3	3,500	2
27	他	生理学研究所	3	3,500	3
27	私	日本大学	3	3,400	3
27	国	山口大学	3	3,300	3
27	公	横浜市立大学	3	3,300	4
27	他	国立精神・神経センター	3	3,300	2
27	他	国立長寿医療センター	3	3,100	2
27	他	国立医薬品食品衛生研究所	3	2,900	2
27	私	昭和大学	3	2,700	1
27	他	愛知県がんセンター	3	2,700	2
38	国	岐阜大学	2	2,400	3
38	私	鶴見大学	2	2,400	0
38	私	徳島文理大学	2	2,400	1
38	他	東京都医学研究機構	2	2,300	1
38	私	東京女子医科大学	2	2,200	0
38	国	浜松医科大学	2	2,100	2
38	国	鹿児島大学	2	2,100	3
38	私	順天堂大学	2	2,100	3
38	国	秋田大学	2	2,000	3
38	国	総合研究大学院大学	2	1,800	1
38	国	新潟大学	2	1,800	3
38	国	奈良先端科学技術大学院大学	2	1,800	1
38	公	大阪市立大学	2	1,800	1
38	私	自治医科大学	2	1,800	2
38	私	関西医科大学	2	1,800	1
38	他	国立感染症研究所	2	1,700	1
38	他	国立成育医療センター	2	1,700	0
38	公	岐阜薬科大学	2	1,600	0
38	私	早稲田大学	2	1,500	2
合計			510	504,200	503

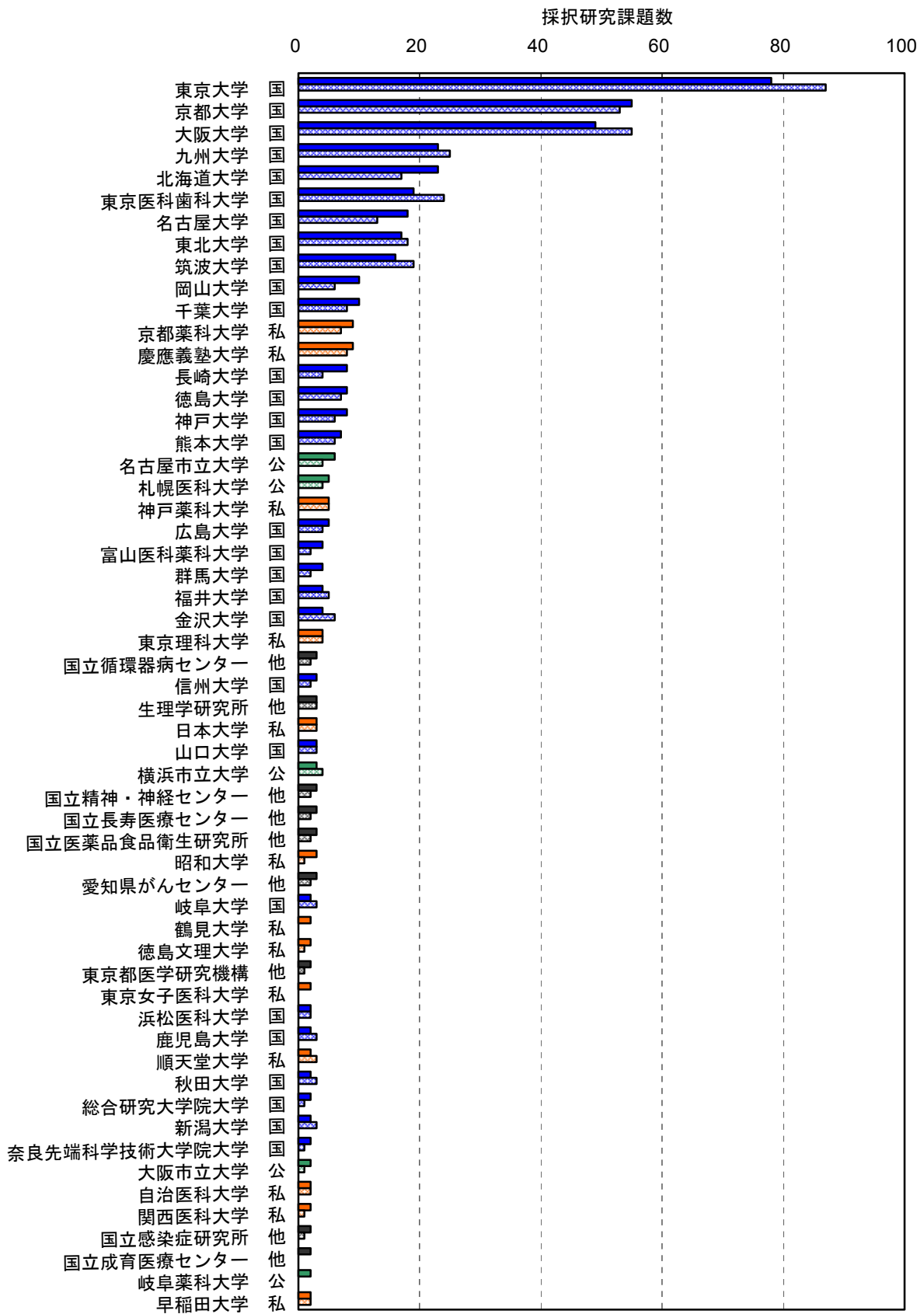


図 2-7 医系 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

表2-13 医系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位30位（2005年度）

金額単位/千円

医学					医歯薬学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	12	11,200	1	国	東京大学	66	63,200
2	国	京都大学	8	8,000	2	国	京都大学	47	47,200
3	国	大阪大学	7	6,300	3	国	大阪大学	42	42,100
4	国	筑波大学	6	5,600	4	国	九州大学	23	23,100
5	国	東京医科歯科大学	4	3,800	5	国	北海道大学	19	18,500
5	国	北海道大学	4	3,000	6	国	名古屋大学	16	14,300
7	国	東北大学	3	3,300	7	国	東京医科歯科大学	15	15,400
7	他	国立医薬品食品衛生研究所	3	2,900	8	国	東北大学	14	13,000
7	国	岡山大学	3	2,800	9	国	筑波大学	10	9,800
10	私	日本大学	2	2,200	9	国	千葉大学	10	9,100
10	他	国立精神・神経センター	2	2,200	11	私	京都薬科大学	9	8,700
10	他	国立長寿医療センター	2	2,200	12	国	神戸大学	8	7,600
10	国	名古屋大学	2	2,000	12	私	慶應義塾大学	8	7,300
10	国	熊本大学	2	2,000	14	国	長崎大学	7	8,700
					14	国	徳島大学	7	7,200
					14	国	岡山大学	7	6,900
					17	公	名古屋市立大学	6	6,800
					18	公	札幌医科大学	5	5,700
					18	国	熊本大学	5	4,900
					20	私	神戸薬科大学	4	4,800
					20	国	富山医科薬科大学	4	4,500
					20	国	広島大学	4	4,200
					20	私	東京理科大学	4	3,700
					24	国	信州大学	3	3,500
					24	他	生理学研究所	3	3,500
					24	国	群馬大学	3	3,300
					24	国	山口大学	3	3,300
					24	公	横浜市立大学	3	3,300
					24	国	金沢大学	3	2,900
					24	国	福井大学	3	2,900
合計			78	72,100	合計			432	432,100

2-4 融合系

新「細目表」の総合・新領域系の分野：総合領域、複合新領域に大まかに対応するのは、旧「細目表」の部：複合領域である。これらを融合系として合計した全体での機関別採択研究課題数を表2-14に、その棒グラフを図2-8に示す。ただし、新「細目表」では新たな「分科」も設けられており、対応性については他の系ほど簡単ではない。

融合系の特別研究員奨励費の採択研究課題数については、東京大学、京都大学、大阪大学と続き、1位と2位、2位と3位の間に段差がある。東京大学が全体の20.0%、京都大学が11.2%、大阪大学が5.8%であり、旧帝国大学と東京工業大学の8大学で約58%を占めている。私立大学最上位の慶應義塾大学が3.0%に過ぎない。このような分布は、理工系に近いものである。これは、融合系の「部」や「分野」に含まれる研究分野が理工系に偏っているためであろう。しかし、単年度のため採択研究課題数が少なく、13位ですでに10件に過ぎないため、機関別順位やその占める割合に統計的に意味があるかどうかは不明である。

2004年度と比較してみると、大きな変動は見られない。旧「細目表」の部：複合領域に含まれていた研究分野の幾つかが他の系へ移行したり、新「細目表」の分野：総合領域、複合新領域に新しい「分科」が設けられたりしたために、各機関の採択研究課題数の増減が他の系よりも大きいように見える。中でも、3位の大阪大学が大幅に採択研究課題数を減らしている。また、理工系と同様に、産業技術総合研究所、理化学研究所などの研究機関が採択研究課題数を増やし、上位に進出している。

以下、旧「細目表」の部：複合領域、および新「細目表」の分野：総合領域、複合新領域について、上位30位までを表にまとめ、表2-15～2-16に示す。文系と同様に、同じ研究分野と考えられるものが新旧の「細目表」にまたがると同時に、新「細目表」では新たな「分科」も設けられたため、これらの順位にどの程度の意味があるかはよくわからない。

表2-14 融合系 採択研究課題数上位50位 (2005年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度		2004年度
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	163	155,800	165
2	国	京都大学	91	83,485	97
3	国	大阪大学	47	45,000	66
4	国	東北大	38	37,100	38
5	国	東京工業大学	37	32,700	22
6	国	名古屋大学	33	31,800	39
7	国	九州大学	32	31,200	29
8	国	北海道大学	31	28,600	21
9	国	筑波大学	24	23,000	21
9	私	慶應義塾大学	24	22,000	20
11	他	産業技術総合研究所	18	18,600	9
12	国	奈良先端科学技術大学院大学	14	12,500	8
13	国	金沢大学	10	10,000	7
14	私	早稲田大学	9	8,700	7
15	国	北陸先端科学技術大学院大学	8	8,000	6
16	国	神戸大学	7	7,500	8
16	国	岐阜大学	7	6,600	3
16	国	広島大学	7	6,600	11
19	国	九州工業大学	6	6,100	3
19	国	千葉大学	6	5,600	6
21	他	生理学研究所	5	5,900	4
21	他	理化学研究所	5	5,800	0
21	他	兵庫県立大学	5	4,800	5
21	国	お茶の水女子大学	5	4,700	5
21	国	総合研究大学院大学	5	4,600	4
26	他	国立精神・神経センター	4	4,500	5
26	他	国立極地研究所	4	4,400	2
26	国	鳥取大学	4	3,600	3
26	公	大阪市立大学	4	3,200	5
30	国	名古屋工業大学	3	3,500	2
30	他	岡崎共通研究施設	3	3,500	5
30	国	電気通信大学	3	3,400	1
30	他	統計数理研究所	3	3,400	4
30	他	基礎生物学研究所	3	3,400	6
30	他	国立長寿医療センター	3	3,300	2
30	国	一橋大学	3	3,200	2
30	他	国立環境研究所	3	3,200	1
30	国	長崎大学	3	3,100	1
30	公	首都大学東京	3	3,100	2
30	国	愛媛大学	3	3,000	5
30	公	大阪府立大学	3	2,900	5
30	私	立命館大学	3	2,700	3
30	国	東京農工大学	3	2,500	1
30	私	立教大学	3	1,900	0
45	国	信州大学	2	2,600	1
45	国	奈良女子大学	2	2,400	3
45	他	物質・材料研究機構	2	2,400	0
45	私	京都産業大学	2	2,300	2
45	私	岡山理科大学	2	2,300	2
45	他	放射線医学総合研究所	2	2,200	2
45	他	東京都医学研究機構	2	2,200	3
45	他	情報通信研究機構	2	2,200	2
45	他	NTTコミュニケーション科学基礎研究所	2	2,200	1
45	国	静岡大学	2	2,100	5
45	国	大分大学	2	2,100	2
45	私	東海大学	2	2,100	2
45	他	国立遺伝学研究所	2	2,100	5
45	国	群馬大学	2	2,000	1
45	国	琉球大学	2	2,000	3
45	私	東京女子医科大学	2	2,000	2
45	私	東京理科大学	2	2,000	2
45	他	消防研究所	2	1,900	1
45	国	東京医科歯科大学	2	1,800	3
45	国	横浜国立大学	2	1,800	2
45	国	徳島大学	2	1,800	2
45	公	名古屋市立大学	2	1,800	3
45	公	熊本県立大学	2	1,800	1
45	他	国立情報学研究所	2	1,800	4
45	私	埼玉大学	2	1,700	1
45	私	東北学院大学	2	1,600	2
45	私	上智大学	2	1,400	1
45	私	関西学院大学	2	1,300	0
		合計	814	784,085	774

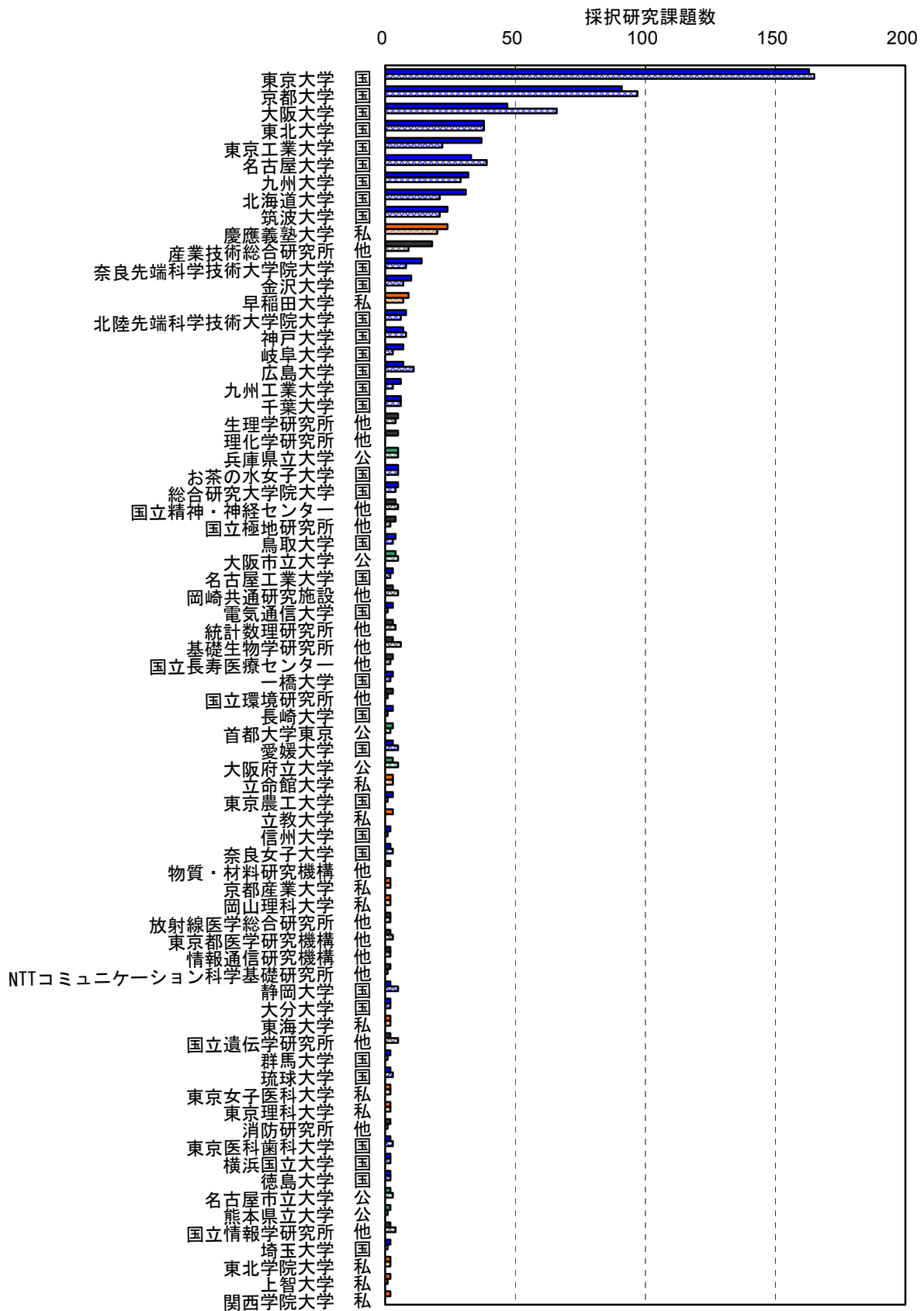


図 2-8 融合系 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

表 2-15 融合系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度) (1)

金額単位/千円

複合領域				
順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	34	34,200
2	国	京都大学	24	22,400
3	国	大阪大学	12	11,700
4	他	産業技術総合研究所	9	8,800
4	国	九州大学	9	8,000
6	国	名古屋大学	8	7,700
7	国	東北大学	7	8,400
8	国	北海道大学	5	4,500
9	国	金沢大学	4	3,800
9	私	慶應義塾大学	4	3,700
11	私	早稲田大学	3	3,300
11	国	東京工業大学	3	1,700
13	他	国立極地研究所	2	2,200
13	他	基礎生物学研究所	2	2,200
13	他	東京都医学研究機構	2	2,200
13	他	国立精神・神経センター	2	2,200
13	他	情報通信研究機構	2	2,200
13	他	国立遺伝学研究所	2	2,100
13	国	筑波大学	2	2,000
13	国	奈良先端科学技術大学院大学	2	2,000
13	公	兵庫県立大学	2	2,000
13	国	お茶の水女子大学	2	1,800
13	国	神戸大学	2	1,800
13	国	愛媛大学	2	1,800
13	私	東北学院大学	2	1,600
13	国	千葉大学	2	1,500
合計			181	174,900

表2-16 融合系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位30位(2005年度)(2)

金額単位/千円

総合領域					複合新領域				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	89	83,100	1	国	東京大学	40	38,500
2	国	京都大学	39	34,985	2	国	京都大学	28	26,100
3	国	東京工業大学	22	20,600	3	国	東北大学	22	20,200
4	国	大阪大学	20	19,100	4	国	北海道大学	18	16,600
5	国	九州大学	18	18,800	5	国	大阪大学	15	14,200
6	私	慶應義塾大学	17	15,300	6	国	東京工業大学	12	10,400
7	国	名古屋大学	15	14,900	7	国	名古屋大学	10	9,200
8	国	筑波大学	14	13,200	8	他	産業技術総合研究所	8	8,600
9	国	奈良先端科学技術大学院大学	10	8,700	8	国	筑波大学	8	7,800
10	国	東北大学	9	8,500	10	国	広島大学	7	6,600
11	国	北海道大学	8	7,500	11	国	九州大学	5	4,400
12	国	九州工業大学	6	6,100	12	他	理化学研究所	4	4,600
12	国	北陸先端科学技術大学院大学	6	5,600	12	国	金沢大学	4	4,400
14	他	生理学研究所	5	5,900	12	国	岐阜大学	4	3,600
14	国	神戸大学	5	5,700	15	国	一橋大学	3	3,200
16	国	総合研究大学院大学	4	3,700	15	他	国立環境研究所	3	3,200
17	国	名古屋工業大学	3	3,500	15	私	早稲田大学	3	3,100
17	他	統計数理研究所	3	3,400	15	私	慶應義塾大学	3	3,000
17	他	国立長寿医療センター	3	3,300	15	公	兵庫県立大学	3	2,800
17	私	早稲田大学	3	2,300	20	他	物質・材料研究機構	2	2,400
17	公	大阪市立大学	3	2,100	20	他	岡崎共通研究施設	2	2,400
17	私	立教大学	3	1,900	20	他	国立極地研究所	2	2,200
23	国	信州大学	2	2,600	20	国	千葉大学	2	2,100
23	国	岐阜大学	2	2,400	20	国	東京農工大学	2	2,000
23	国	奈良女子大学	2	2,400	20	国	お茶の水女子大学	2	2,000
23	他	国立精神・神経センター	2	2,300	20	他	消防研究所	2	1,900
23	国	長崎大学	2	2,200	20	国	奈良先端科学技術大学院大学	2	1,800
23	他	NTTコミュニケーション科学基礎研究所	2	2,200	20	国	鳥取大学	2	1,800
23	国	群馬大学	2	2,000	20	公	熊本県立大学	2	1,800
23	国	千葉大学	2	2,000	20	私	立命館大学	2	1,800
23	公	首都大学東京	2	2,000					
23	国	東京医科歯科大学	2	1,800					
23	国	金沢大学	2	1,800					
23	国	鳥取大学	2	1,800					
23	他	国立情報学研究所	2	1,800					
23	私	関西学院大学	2	1,300					
合計			376	359,685	合計			257	249,500